

Shinobugaoka

2013

# 忍ヶ丘

Vol.5

宮崎学園短期大学

Miyazaki Gakuen Junior College



# 学長所感 本学の 挑戦と変革

学長 山下 忍

記すべきことの第一は、学友会の頑張り、努力の状況であろうと思います。

今年度の学友会執行部が掲げた活動の基本テーマは「革命」でした。私は、「革命」は、即「挑戦」と同義語であろうと判断しながら、その活動ぶりを見つめてきました。

高く掲げた旗印に、偽りはなかったと思っています。活動開始早々の「春の忍ヶ丘祭」においても、また、十月下旬開催の「秋の忍ヶ丘祭」にも、学友会執行部は、「革命」の名に恥じない活動を展開しました。

本学の学友会は、長い伝統の中で、ただ単に学生や教職員の意向を汲むのではなく、活動のあるべき姿を求めながら、学生はもとより、教職員とも一体となって行動するという姿を誕生させてきました。が、この平成24年度は、その求める姿が、美しく結実した年で

あつたと、私は心底から思っています。

活動期間は四年制大学の半分という制約の中で、己の願い達成と共に、学生集団の願いをも達成しようとするのは、まさに至難の業です。それを承知の上で、「革命」を掲げて「挑戦」を続ける本学学友会に、私は大きな拍手をおくりたいと思っています。

次に記しておきたいのは、本学教職員の働きです。

その一つは、今年度本学がその役割を果たし終えた「第2回目の第三者評価」についてです。

ご承知いただいているかと思いますが、全国の大学・短大は、7年に一度、高等教育を行うに足る教育機関であるかどうかを、第三者の評価機関によって評価してもらう義務があります。

本学は、この制度を開始を見たその年に、全国の多数の短大の中の僅かな学校と共に、一番乗りで評価を受け、見事「合格」を手にしました。今年度は、その一番乗りの合格校のみが、第2回目の評価を受けることになりましたが、本学は、今回もまた、一発合格を勝ちとるべく全力を尽くしました。私た

ちは、全教職員で思いを一つにして誠実に作業を進め、合格に至る努力を払いました。そうした状況を、こうして堂々と口にし得ることに誇りを抱いています。学生たちに頑張れと言いつづけている以上、私たち教職員もまた、世間に恥じない努力をし、結果を生みみたいと願っています。

今一つ報告があります。

本学は、平成26年度から新たな学科構成のもとで教育活動を行っていくことになりました。それが具体的にいかなる姿であるかは、本学のホームページで紹介いたしますし、同ページの「学長折々の記」(その47)にも記しています。是非ご覧いただいで、ご理解をいただけるとう幸いです。

今や巨木となった玄関前の銀杏樹は、本年度もまた、夏には緑いっぱいとなり、その後ザラザラんと実をつけ、初冬を迎えては、見事な黄葉となって人々の目を楽しませてくれました。同窓の皆さんにも、機会を見つけてぶらっとご来学いただき、学園と呼ぶにふさわしい母校のキャンパスを目にしたいだけだと、これまた幸せです。

## 本学の挑戦と変革

学長 山下 忍

## Contents

◆学長所感 本学の挑戦と変革	学長 山下 忍	1
◆【特集】フェスティバル		
【保育科】 保育フェスティバルを終えて	2年D組 内野宮 瑛	2
【初等教育科】 実践することの重要性	1年 二見 祐樹	5
【音楽科】 短大フェスティバルを終えて	音楽科長 末平 浩康	6
【人間文化学科】 私達が学んだこと	医療事務・医療秘書コース 岩元佐津妃	7
◆【特集】オープンキャンパス		8
◆短大生活 365日		
【学友会活動】 「革命」を掲げて	学友会会長 佐藤 桃華	10
春の忍ヶ丘祭を振り返って	春の忍ヶ丘祭実行委員長 廣嶋 一人	10
秋の忍ヶ丘祭を振り返って	秋の忍ヶ丘祭実行委員長 上原 唯	11
【忍ヶ丘祭】 二年間の寮生活を振り返って	副寮長 上原 唯	12
【保育科】 実習を振り返って(幼稚園・保育園・施設)		
沢山の学びそして自分を信じて	2年B組 吉田真梨奈	13
夢に向かって	2年E組 白坂 李布	13
まだまだ、これから	2年C組 山下沙也加	14
実習で学んだこと	2年E組 黒木 亮	15
施設実習を終えて	2年B組 新名 和貴	15
素直な優しさを感じて…	2年C組 中原つくし	16
【初等教育科】 教育実習を終えて	2年 甲斐 聡	17
サマースクールを終えて	1年 成合 葵	17
山のボランティア	1年 光富 貴史	18
オープンキャンパス	1年 児玉 朗弘	18
【音楽科】 子ども達の眼	音楽文化総合コース 2年 山内 翔子	19
努力すること	演奏コース(管楽器)2年 弓削なつみ	19
思いはいつからでも	科目等履修生 村川 智子	19
全国のステージに乗るために	合唱部 2年 横山 夏美	19
音楽が引き出すもの	演奏コース(声楽) 2年 新町 友梨	20
夢の舞台が与えてくれたもの	演奏コース(金管楽器) 2年 田部富貴子	21
音楽療法を学んで	音楽療法コース 2年 中村 莉子	21
【人間文化学科】 「インターンシップを体験して」社会人に向けて見えてきた道	文化ビジネスコース 1年 末吉 美里	22
司書という仕事の裏側	国語国文コース 2年 井上 藍	22
教師になるということ	国語国文コース 2年 前田 里菜	23
社会人へ向けて第一歩	医療事務・医療秘書コース 2年 清武 倫子	23
人とのつながり	JR九州宮崎駅 落合かすみ	24
仕事をする中で気をつけていること	株式会社DNP西日本宮崎営業所 黒木真奈美	24
ありがとうの為に	古賀総合病院 平田 美穂	25
【専攻科】 専攻科の一年を振り返って	福祉専攻 谷川みさ子	26
人を見つめる音楽療法	音楽療法専攻 池田ひとみ	27
◆生涯学習推進委員会		
子育て支援セミナー	守川 美輪	28
ニューライフ・アカデミー	原田 真理	29
◆保育研修会を開催して	保育研修会担当 中武 亮子	30
◆教員免許更新講習について	教務部長 黒木 國泰	31
◆サークル活動紹介		
「野球部の紹介」	保育科2年 新名 和貴	32
「チームワークの大切さ」	福祉専攻科 佐藤 直希	32
「協力の成果」	人間文化学科2年 廣末 沙織	32
「楽しむ心」	初等教育科1年 鶴 伸一郎	32
「仲間との思い出」	保育科2年 原田 美紀	33
「楽しい吹奏楽をしよう」	音楽科 2年 田部富貴子	33
「一つのものを作るということ」	初等教育科 2年 都甲 真実	34
「心遣いの学び」	人間文化学科2年 中村 有希	34
「素晴らしい仲間の姿」	初等教育科 2年 山元友希江	34
◆就職状況	就職指導課	35
◆平成26年度入試、奨学生制度、学費等		37
◆どうぞよろしく新教職員紹介		
はじめまして	会計・用度担当 藪部 初	40
◆しのぶ会だより		41

表紙の題字：宮崎 賢二 先生



平成24年度  
保育フェスティバルプログラム

10月27日(土) 本学交流センター研修室 10:00~15:00  
12月1日(土) イオンモール宮崎イオンホール 10:00~16:00

	クラス	タイトル
0・1歳児	専攻科(福祉専攻)(本学) 中武研(イオン)	親子ふれあいあそび
	地域共生(B)	手づくりおもちゃで遊ぼう
	1A・2A	アドベンチャーワールド
	1B・2B	親子ふれあいあそび
	1C・2C	アドベンチャーゲーム
2歳以上児	1E・2E	アニマルゲームス
	1F・2F	メダルゲットだぜ
	1D・2D	モンキッキー・ジャングル
	地域共生(A)	パネルシアターと製作あそび
	製作コーナー: 風船ぶた ケーキ屋さん	



「モンキッキー・ジャングル」1D・2D



「パネルシアターと製作あそび」地域共生(A)



「親子ふれあいあそび」専攻科(福祉専攻)



「手づくりおもちゃで遊ぼう」地域共生(B)

特集

# フェスティバル

保育科

保育フェスティバルを終えて

2年D組

内野宮 瑛

今年の10月27日(土)に行われた第1回目の保育フェスティバルでは、先生方からの助言を受けながら、数か月前から子どもたちが遊ぶ遊びをしようと、1年生と一緒に計画をしてきました。行った活動の題は『モンキッキー・ジャングル』と言い、子どもたちがサルになりきって私たちが作った障害物をクリアしながら進んでいく、全身を使う遊びです。活動前に、童謡『アイアイ』の曲を使った『モンキッキーダンス』をしました。本番が近くになると1年生と話し合いをしながら当日の流れを確認したり、リハーサルをしたりと緊張感を持ちながら準備しました。本番では想定外のことも起こり、戸惑うこともあったのですが、結果的には子どもたちがとても楽しく遊んでくれたので安心して

ました。自分たちにも心地よい疲労感が残りました。2年生はこの直後に保育実習があり忙しい日々を送りました。私はフェスティバルでの経験を生かし、研究保育では表現遊びや『モンキッキーダンス』をしました。子どもたちは元気に体を動かして楽しんでくれました。実習園の先生方にも好評をいただき頑張ってきたことは無駄ではなかったと感じました。2回目の保育フェスティバルは、12月1日(土)にイオンショッピングセンターで行われました。朝早くから準備をし、前回の反省点を改善し、前よりも良いものにしてしようと進めていきました。1回目よりも来場者が多く、制作遊びでは人手が足りなくなりました。1年生も要領がわかってきたのか、積極的に子どもたちに声掛けをしており、子どもたちと共に楽しんでる姿を見てとても頼もしく思いました。保育フェスティバルが終わり、私たちが経験したことは今後の現場や実習に役立つと思います。



保育フェスティバル(in 宮崎学園短期大学「秋の忍ヶ丘祭」)  
H24.10.26(土)



短大フェスティバル(保育科in イオン)  
H24.12.1(土)





「アドベンチャーワールド」1A・2A



「アニマルゲームス」1E・2E



製作コーナー「ケーキやさん」



製作コーナー「ケーキやさん」

## 初等教育科

### 実践することの重要性

1年  
二見 祐樹

小学校教員という私の夢に向けての一つの経験ではありましたが、乳児・児童の様々な特徴を見る事ができてとても良い機会をいただけたと思います。

私は、英語で遊ぼうというコーナーを担当させていただきました。以前、海外で日本の子ども達に英会話を教えるとしたら、どのように教えるのかという方法を学び、指導案・演技・子どもの発達段階を学んでいました。その経験を生かして実践したのが今回が初めてでした。

先述してあるように、発達段階や性別によって反応が異なったり、個に応じて勿論反応が異なっていました。そんな中、私の準備した内容に、子ども達も全身で反応してくれましたし、楽しかったという感想もいただ

けました。やっている私が本気で、子ども達とのコミュニケーションを楽しめていたからだと思います。

楽しいことの中でも、私の準備した内容について、現場から気付かされたことも多くありました。頭では分かっているつもりでも、現実にマニュアルは通用しないことも改めて感じましたし、これから教員を目指すに当たって、どんな状況にも対応できる柔軟性を身に付ける必要があるとも感じました。

たった一日の内の数時間の中からも、こんなに大切なことに気付かせてくれる子ども達に感謝しつつも、自らを成長させる良い環境でもあるので、これからもこの経験を生かしていきたいと思えます。そして、信頼される大人(教員)になりたいと思います。



## 製作あそび ケーキやさん

### ケーキの台

○段ボールを染料で染めるか、薄く溶いたアクリル絵の具で着色し、空き缶などを型にして丸く切る。

### クリーム

①ビニール袋に次のものを入れ輪ゴムで縛ってよくもみ、混ぜ合わせる。  
軽い紙粘土1袋(200g)  
水1カップ(200cc)

木工用ボンド2分の1カップ位(目分量)  
絵具適量(絵具を入れられない場合は絵具用防腐剤を数滴入れるとよい)

②ビニール袋の端を1ヶ所切り、口金をつけた市販の使い捨て絞り袋2枚に分けて入れ、上部をねじってテープで留める。

### 遊び方

段ボールにクリームを絞って遊ぶ。おいしそうな色で着色してあるので、色の組み合わせを楽しむことができる。段ボール1枚でつくってもいいし、2〜3枚重ねてもいい。絞り袋の中身が減ってくると、子どもは絞りにくい。時々上部を巻くなどして絞り袋を小さくするとよい。できたケーキは乾燥させるときれいに固まる。

(守川美輪)





# 音楽科

## 短大フェスティバルを

終えて

音楽科長

末平 浩康

今年度のフェスティバルは、12月8日(土)イオンホールにて3学科合同(初等教育科・人間文化学科・音楽科)という形で行われました。従来は、音楽科は単独で、「ミュージカル」ぞうれっしやがやってきた」を中心としたものを、大坪記念ホールでやっていました。

音楽科は、他学科の催し物の合間に、ミニコンサートを3回公演しました。

プログラムは、田中優魅さんの琴演奏、田部富貴子さんのチューバ独奏、溝口いつかさんのフルート独奏、横山夏美さんと今屋琴弥さんによるピアノ連弾、新町友梨さんと田部さんの独唱や重唱など多彩なプログラムで、クリスマスも間近という

こともあって、クリスマスソングあり、また、琴とフルートによる「春の海」2重奏は一足早いお正月気分を味わわせてくれました。何よりも感心したのは、このイベントに参加してくれた2年生は、前日まで2週間の音楽療法臨床実習が終わったばかりで、早朝から疲れた表情も出さず、積極的な参加をしてくれ、あらためて、2年生の成長ぶりを見せつけられ、寒い冬の中、あたたかい思いをいただきました。



# 人間文化学科

## 私達が学んだこと

医療事務・医療秘書コース 1年

岩元 佐津妃

人間文化学科は、各コースに分かれ短大フェスティバルを行いました。

国語国文コースは「マナー」、文化ビジネスコースは「記念写真」、医療事務・医療秘書コースは「健康チェック」を実施しました。

私は、血圧測定を担当することになりました。水銀血圧計を使うのは三度目で、上手くできるか不安でした。しかし、先生に再度使い方を習い、友人と練習をしたおかげで上手くできるようになりました。

当日はたくさんのお客様が来てくださいました。自分自身の脈の音を聞いてもらったり、音の聞こえ方の説明をしながらコミュニケーションをとりました。たくさんのお客様の血圧を測っていると、低血圧の方が多く驚きました。高血圧の方

が多いということはよく耳にしますが、なぜ低血圧の方が多いのだろうかと疑問に思いました。

後日調べてみると、さまざまな原因はありましたが、やはり生活習慣がカギだと思いました。高血圧だけでなく低血圧についてもっと調べていればよりお客様の役に立てたのにと後悔しました。

また、病院では静かに、とよく言いますが当たり前と思ってしまう方が多いでしょう。しかし、どこか他人事のように考えてはいないでしょうか。小さな声など音でさえ脈の音が聞こえづらくなり、かき消されてしまう事があると血圧を測りながら実感しました。音は病気が発見されるための大切なサインの一つです。周囲に気を配り、思いやりの心が必要だと思いました。

今回のフェスティバルを通して、まだまだ勉強と経験が足りないと感じました。

実際にやってみないと分からないことや、反省する部分もありましたが、改善して自分の力にしていきたいと思えます。



短大の授業風景



健康チェックコーナー



マナーコーナー



記念写真コーナー





## 特集

# オープンキャンパス

オープンキャンパスは、高校生や保護者及び高校の先生方に本学の教育方針、授業内容、進路状況などをしっかり伝えるとともに、学生や先生方との交流を通して本学をより身近に感じてもらい、安心して入学してもらうために行う本学の年間行事の中でも最も重要なイベントの一つです。

開催までには、教職員約20名で構成された「オープンキャンパス検討委員会」を何回も開催し、前回の反省や新たな企画を持ち寄り議論を重ねます。前日の準備には学長先生を筆頭に教職員全員でテント張りやオープニングセレモニー会場の設営、横断幕やのぼり旗の設置を行い、当日も朝早くから最後の飾り付けのチェックをして、参加者の方を迎えます。

当日の運営で重要な役割を担う係学生は、みな高校生の時にオープンキャンパスに参加した体験者たち。毎回100名程度が参加します。今度は自分が短大生として高校生を迎える立場になって、「私たちが学ぶ短大のいいところをいっぱい知ってもらいたい！」とそれぞれの持ち場で張り切って取り組んでいます。

今年も7月8日(日)と8月5日(日)に開催し、おかげ様で昨年を上回る参加者がありました。

	7月参加者数	8月参加者数	合計参加者数
高校生	263名	245名	508名
保護者	97名	96名	193名
合計	360名	341名	701名

当日のアンケートでは98%の方が「参加して良かった」と回答されました。



吹奏楽部によるウェルカムコンサート(全体会)



受付を済ませて全体会場へ



係り学生の誘導でミニ講義へ



幼稚園教諭になった先輩メッセージ(全体会)



学生の作品も展示しています



高校生も一緒にどうぞ!



バラエティー豊かなミニ講義



アンケートに答えてお楽しみ抽選



茶道部によるお茶のおもてなし

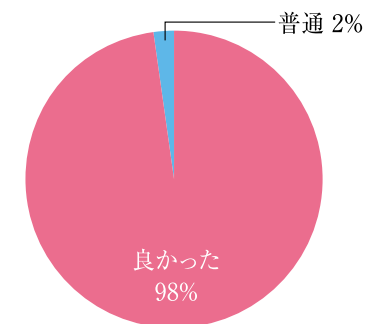


カフェテリア風学食体験!



特製ゲートが参加者をお出迎え

### 参加してどうでしたか?





# 短大生活 365日

Junior College Life 365 Days



学友会執行部

## 学友会活動

### 「革命」を掲げて

学友会会長

佐藤 桃華

「人は決して一人では生きられぬ。だが、一人だと自覚するからこそ、周囲の人々の有り難さに気付くことができる」高校卒業時、恩師が私に伝えたこの言葉。今改めて私の胸にじんわりと沁みこんでゆく。

入学して二年。卒業の時を迎えようとしている。風のようにあつという間に過ぎ去った二年間のようにも感じるが、一日一日を必死に、そして一歩一歩踏みしめて歩んできた二年間だった。決して私一人の力だけでは歩んで来れなかったこの道。支えてくれ、温かく見守ってくれ、共に歩き続けてくれる人達がいってくれたからこそ、歩んで来れた道である。

「革命」というテーマを掲げ、

互いに助け合いながら様々な行事に真剣に取り組み働き続けた学友会執行部の仲間。夢を追いかける中で、共に笑い共に泣きながら、嬉しいことは何倍にも、悲しいことは何分の一にもしてくれるクラスの仲間。

いってらっしゃいと元氣よく見送り、おかえりと温かく迎える合家族のような絆で結ばれた寮の仲間。時折声をかけていただき、温かく見守って下さった先生方。私がこの二年間夢に向かって歩んで来れたのも、会長として「革命」に向かって歩んで来れたのも、このような人達がいってくれたおかげである。

人は決して一人では生きられぬ。お互い様であり、おかげ様。また改めてつくづく、人との出会いに感謝させていただいた二年間だった。本当に、ありがとうございました。

### 春の忍ヶ丘祭を振り返って

春の忍ヶ丘祭実行委員長

廣嶋 一人

と思います。みなさんお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



春の忍ヶ丘祭

会執行部で計画を練っていたので、まさに一からのスタートでした。そのため、企画の段階では大丈夫だと考えたものを実際に運営に移そうとするときに問題が次々と発生し、自分達のミスをどう解決すれば良いか頭を抱える日々が続きました。当日の天気予報は雨。

一体どのような雰囲気、学園祭になるのか自分達にも予想ができない状態で雨天に備えた準備をし、当日の天気が晴れるよう皆で必死に祈りました。

その皆の願いが通じたのか、学園祭当日は奇跡的に二日間とも天気に恵まれ、盛大に開催することができました。特に二日目、模擬店の販売が始まった会場には他の役員より一足遅くに入ったのですが、その時の感動的な光景が今でも忘れられません。本来は雨が降るはずであつた空から穏やかな陽射しが降り注ぎ、会場いっぱい学生、先生方、地域の方々の笑顔が溢れていました。これこそが本当に私が思い描いていた学園祭だ、そして、今まで学友会執行部の仲間と頑張ってきて良かった。

毎年この宮崎学園短期大学では、一番初めに行われる行事として、春の忍ヶ丘祭という一・二年生、専攻科生、全学科、全クラスでの交流を主とした体育祭があります。

今年の学友会の掲げるテーマ「革命」に沿って「今までにない春忍にしよう！」ということ、昨年とは違った競技内容にした、応援合戦のやり方を変えてみたり、学友会からエールを送ったりと、様々な挑戦をすることになりました。そのため、夜遅くまで話し合ったり、色んなお店に走り回ったりと、学友会執行部が一丸となって頑張りました。

本日の予定日は雨で延期にはなったものの、学生みんなの思いが届いたのか、延期になった予定日は朝から天気に恵まれ、いいコンディションの中で行うことができました。

昨年のデータがない中で作り上げた計画なので、色々な不安を抱えてのスタートだったので、学友会執行部はじめ、全学生、先生方の協力の下、無事に春の忍ヶ丘祭を成功させることができた。

私は、この秋の忍ヶ丘祭に関わってくれた方々の中の誰一人が欠けても、今回のような学園祭は実現できなかったと思っています。ゲストで来てくださった「あきらちゃん&ライメンちゃん」、途方に暮れた時に助けてくださった先生方や先輩方、積極的に仕事を手伝ってくれたクラスの実行委員、そして、学友会執行部の仲間達…。この文面では書ききれないほどの沢山の方々のおかげでやり遂げられた学園祭であつたと強く感じています。本当にありがとうございました。

この秋の忍ヶ丘祭が来年、再来年、そしてさらに未来へ、いつまでも進化し続ける学園祭であつてほしいと私は願っています。



秋の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭が終わり、学生からは「今年は楽しかった」「大変だったけど、頑張ったね」と言葉ももらい、先生方からも「ここ数年で一番良かった」「学友会の頑張りで『大成功』だったと思う」など、全体的にいい評価をもらうことができ、反省点も多々あるものの、納得のいく春の忍ヶ丘祭にすることができました。

来年も、再来年も、回を重ねるごとに「昨年よりも良かった」と思えるような春の忍ヶ丘祭になることを期待して、私たちの培ってきたものを次に託したい



二年間の寮生活を振り返って

副寮長

上原 唯

私は、この二年間の寮生活で最高の宝物を得ることができました。それは、「仲間」です。

一緒に風呂に入り、ご飯を食べる。それぞれが学校に行っても、遊びに出掛けても、帰る場所が同じ仲間の存在は、やはり私にとって特別な存在です。たった二年程の付き合いであるのに、随分昔からお互いを知っていたような、まるで幼馴染、そして家族のような大きな存在になりました。

時にその仲間は、同じ夢を持つ「同志」として、講義で使うノートの貸し借りや深夜までテスト勉強を共にしてお互いを励まし合いました。また、「親友」と

して一緒にテレビや雑誌を見た

り、悩みの相談や恋の話、今日の出来事などを延々と語りました。このように、今思い返しても、仲間がいたからこそ毎日が充実していて楽しい寮生活だったのだと強く感じています。自分の誕生日を祝ってくれる人達がいる。自分の喜びと一緒に喜んでくれる人達がいます。そして、「ただいま」という言葉に沢山の「おかえり」という言葉が返ってくる。人に囲まれているという幸せをいつもこの寮では実感できました。

私は、この忍ヶ丘寮に入寮したことを一つも後悔したことはありません。初めての親元を離れた生活で、家族に対して感謝の気持ちを持つことができました。仲間と生活する中で改めて協調性の大切さを学びました。もし寮に入っていなかったら、きっと出会わなかっただろうと思う他学科の仲間や後輩達もいます。お世話になった寮監

さんや寮母さんをはじめ、大好きな寮生の皆、そして寮に関わってくださった全ての方々に感謝の気持ちを伝えたいです。忍ヶ丘寮は私にとって、思い

出の沢山詰まった第二の我が家です。二年間、この素敵な場所で仲間と過ごした思い出は、一生私の中で消えないと思います。



ハロウィンパーティー

保育科

実習を振り返って

(幼稚園・保育園・施設)

沢山の学びそして

自分を信じて

2年B組

吉田 真梨奈



三週間の幼稚園実習は、とても貴重な経験となりました。初めての幼稚園実習で緊張と不安で一杯でしたが子ども達の笑顔に囲まれて徐々に慣れることが出来ました。

実習をする中で難しいことや大変だったこと悩んだことが沢

山ありました。また、学んだことも多くありました。私は、年長のクラスで実習をさせて頂きました。男児の方が多くとても元気なクラスでした。その中で一人の男の子との出会いがとても印象に残っています。その男の子は毎日のようにケンカをして友達を泣かせていました。私は仲裁に入ったり、話を聞いたりましたがなかなか変化がなくて対応の難しさを痛感しました。先生に話を伺うと最近居残り保育が多く寂しさの表れもあるのではないかとのことでした。私は、表面的な部分しか見えていませんでしたがその子ども達の家庭環境を知ることにより深く保育士としての役割を考えることが出来ました。また、保育者は勿論のこと家族の愛情の必要性を改めて感じる事が出来ました。

そして今回は初めての研究保育がありました。どうしたら子ども達が楽しんでくれるか何日も考え、準備も夜遅くまで頑張りました。

当日はとても緊張しましたが、子ども達の喜ぶ姿を見る事

で自分への自信へと繋がりました。また、先生方のアドバイスの中で9割は準備で1割が本番と言われ準備の大切さを知ると同時に、普段段々されている保育も見えない所では色々な配慮があるのだらうと感じました。

今回の実習を通して流れだけでなくその時の状況や子ども達の気持ちを察して声かけをしたり臨機応変に対応していくことの大切さを学ぶことが出来ました。この仕事は奥が深く大変な仕事だけども、とてもやりがいのある仕事だと思いました。三週間あつという間の充実した実習でした。この経験が必ず役に立つ日が来ると信じ自分に自信を持ってこれからも頑張っていきたいです。

夢に向かって

2年E組

白坂 李布



「りほせんせい」と元気よく迎え入れてくれた子ども達のおかげで、私の不安と緊張感はすぐになくなりました。

幼稚園の一日は掃除から始まります。最初は何気なくしていましたが、日がたつにつれ、「昨日ここで泥だんご作ったな」「あさがおの芽がでてる」など色々な気づきや思いがあり、とても清々しい気持ちになる時間となりました。また、この園で実習させていただき、自分の夢に少しずつ近づいていることを実感し、感謝の心をもち掃除に取り組みました。

3週間をふり返ると様々なことがありました。子どもは本当に可愛いです。しかし、正直難しいことも沢山あります。家庭での出来事で元気がなかったり、泣いている理由が分からない



ど様々あります。それを見分け対応するのも保育者の大切な仕事であり、私には、まだまだ不足している所だと思えました。また、私が思っている以上に、子ども達は自分で出来ることが多く、全てしてあげるのではなく、一人一人に合った援助をし成長へ導く大切さを知りました。

幼稚園は保育園と違う魅力もたくさんありました。初めてクラスを一人で担当し、研究保育や終日保育などをさせていたいただきました。担当したクラスの子どもは特別に可愛いく、不安だった研究保育なども、子どもを信じて取り組み、本当に楽しい活動になりました。もちろん、指導案や日誌などとても大変でしたが、子ども達の笑顔を見ると疲れも飛び、改めてこの仕事に就きたいと思えました。

今年はいよいよ保育士になります。この3週間で学んだことを生かし、小学校からの夢である保育者になれるよう、笑顔と元気を忘れず、全力で頑張ろうと思います。同じ夢に向かってる保育科の仲間とこれから励ましあっていきたいです。

## まだまだ、これから

2年C組  
山下 沙也加



保育科、最後の実習である保育実習Ⅱが、11月5日～17日に保育所(園)で行われました。

今回、実習をさせて頂いた保育所は、1年次に初めて実習させて頂いたところでもありません。

1年次は、初めての实習というところで、子ども達や先生方とうまくコミュニケーションをとることができののだろうか、日誌はちゃんと書くことができるのだろうかなど、様々な不安を抱きながら実習初日を迎えました。最初の数日間は何をすればいいのか分からず、ただメモを

## 実習で学んだこと

2年E組  
黒木 亮



私は、これまでの実習を通してたくさん学ぶことができました。

一回目の実習の時は、何も分からず先生方に質問して、メモを取るということの繰り返しでした。短大の授業で学んだことを実習で活かそうと思い、実習に望んでも、実際の現場では教科書に書いてあることが嘘かと思ってしまうくらい通用せずに悩む時期もありました。子ども達には、一人ひとり個人差があり、性格も違い、個性がありました。また、日によって体調や精神状態が良かったり悪かったりするので、

どのように対応したらよいか戸惑うばかりでした。

しかし、日が経ち、子ども達とたくさん関わることで少しずつ一人ひとりの子ども達のことかわかるようになり、そのクラスの特徴や子ども達への対応の仕方などもわかってきました。また、先生方の子ども達への関わり方を見ることで、子ども達に接する方法や適切な声かけなどにも気づけるようになり、だんだんと楽しく実習することができるようになりました。

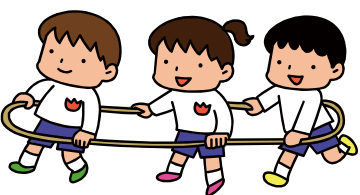
私は、実習において最も重要であり自分の力になると思えるのは、保育園の先生方の子どもの関わり方を見て、それを真似し、実際そのように子ども達と関わってみることだと思っています。このことを数回の実習を体験することで、改めて感じました。

私が保育園への就職の内定をいただくことができたのはこのような実習の経験があり、その中で多くのことを学ぶことができたからであると思っています。今後は、実習生ではなく本當の保育士として保育現場で働く

取ったり、先生方の指示に従ったりして行きました。しかし、「もっと積極的に行動しよう」と思い、先生方に何をすればいいのか尋ねたり、たくさんの子とも達と関わったりするようにしました。ですが、今考えると、1年次は、一生懸命、実習に取り組んでいても、やはり自分のことで精一杯になってしまっていて、先生方がどのような意図があつて声掛けや配慮をされているのか、どのような子どもの姿があるのかなど、見ることでできていなかったと思います。

そして今回、幼稚園、施設の2カ所の実習を経験して、学んできたことを発揮できるように、保育所の実習に臨みました。設定保育をさせて頂くにあたり、自分で、子ども達の動きやそれに対する保育者の配慮、子どもが活動しやすいような環境構成などを考えたり、活動に必要な準備物を準備したりしなければなりません。活動中の子ども達の動きを想定して、保育者の配慮を書かなければならぬので、常に子ども達と先生方のやり取りを観察したり、自分

ことになりそうです。男性保育士と一言うことで不安も多いですが、実習で学んだこと、経験したことを活かし、一生懸命取り組んでいきたいと思っています。



## 施設実習を終えて

2年B組  
新名 和貴



が子どもと関わったりして、その子どもにあった言葉掛けの仕方などを把握するようにしました。しかし、実際に、保育をしてみると、私が想定していなかったような子どもの発言や行動があり、その対応に困ってしまふ場面も多くありました。活動後の反省会で、先生方から具体的なアドバイスを頂き、とても勉強になりましたし、まだまだ勉強・経験不足だなということを実感しました。また、想像していたよりも設定保育ができず落ち込んでいた私にとって、先生方からの温かいお褒めの言葉や子ども達の「楽しかったよ」の言葉や笑顔が、とても励みになりました。このように、実習での様々な出来事が、自分の成長への糧となったと思います。

これから、実習で学んだことや経験したことを活かしながら、より勉強に励み、自分の理想とする先生像に近づけるよう努力していきたいです。

私は日南市にあるつよし会つよし寮で施設実習(7泊8日)をさせて頂きました。

実習が始まる前までは障がいがある人に対して怖いというイメージをもっていたのでどのようにつよし寮で生活するのかが不安でした。実習が始まると利用者の方から話しかけてくれたり、活動の中でも優しく明るく私たちに接してくれ、障がいのある人に対して私がおもったイメージとは全く違い怖いと思っていなかったことがとても恥ずかしくなりました。

最初に壁を勝手に作っていたのは私でその壁を利用者の方が打ち破ってくれたことに気づかされました。

つよし寮では窯業や茶園など、とても多くの活動があります。どの活動もほとんどの利用者の方は自分の力ですることがので、私たちの方がどのようなにしているのか分からず困っていると、利用者の方が教えてくれました。職員の方にも様々なことを教えてもらいましたが、それ以上に利用者の方に教えてもらうことが多くあり、



よく知っているので教わる気持ちでもっとどんどん聞いていけばよかったですと思いました。

職員の方から利用者との関係づくりの原点は「そばに寄り添うこと、声をかけること、声をかけられること」の3つが大切と教えていただきました。そこで、実習で一番最初に始めたことは利用者の方の名前を覚えることでした。お互いの名前がわからないと活動するときにもコミュニケーションがとれません。だからこそ1日でも早く覚えるように、夜の休憩時間に利用者の方とオセロをしたり、コーヒーと一緒に飲んだり、私たちの方から積極的に利用者の方全員と関われるようにして名前を覚えしました。実習最終日には、全員の名前を覚え、一人ひとりの利用者の方と名前呼び合えるようになり、楽しく過ごすことができました。

施設実習では、今までの幼稚園や保育園の実習とは、援助の仕方、日誌、関わり方など全く違うので、実習1日目などはどのようにすればよいのか分からないいかもしれませんが施設の職員

の方、利用者の方など全員が優しく分からないことは教えてくれるので分からないことは積極的に質問などしたほうが良いと思います。また、実習前にボランティア等に行きその施設のこと知っておけばよかったです。7泊8日の短い期間でしたがとても多くのことを学べ施設に実習に行けてとてもよかったです。

### 素直な優しさを

感じて…

2年C組

中原 つくし



今回の施設実習を通して、人と人が通じ合う優しさについて学ぶことができました。

実習が始まる前は、10日間を

無事に終わることができると不安や緊張がありました。実際に実習が始まってみると、初日からたくさん利用者さんとふれ合いコミュニケーションをとることができました。その中でも、言語や聴力に障がいを持たれている方もいらつしやり相手に伝えることの難しさを感じました。私は職員の方にすぐに相談をし、一人一人の利用者さんにあつた声かけの仕方や接し方を細かく教えて頂きました。その助言のおかげで積極的にコミュニケーションをとれるようになり、自分の気持ちが伝わって微笑み返して下さった時はとても嬉しかったです。実習初日に職員の方に教えてもらった言葉があります。それは「利用者の方の名前を覚えると実習も楽しくなるよ!」ということ。それ

から私は一生懸命名前を覚え、朝の挨拶や廊下ですれ違う時は必ず「〇〇さん、こんにちは。」と名前を呼びながら声かけをする、利用者の方々も私の名前を覚えて下さり挨拶を返して頂き、嬉しく思いました。一日の実習を終えるにつれ失敗や

戸惑いもありましたが、学ぶことが多く今までの自分の未熟さを痛感しました。また、利用者さんとふれ合っていると素直な心で接している自分に気づくことができました。

実習の中では、白杖歩行や点字、目隠し食事など普段の生活では経験できないことも体験させて頂きました。まず、私達は色々な刺激や環境を目、耳、口を通して感じとります。その機能が一つ動いていないだけで恐怖感や不安感を持って生活していくこととなります。しかし利用者の方々は充実した生活を送るために日々の努力が感じられました。

最後にこの実習を終えて利用者さんの清らかな心、思いやりの心を感じながら充実した実習を終えることができ、人と人とのコミュニケーションの大切さを強く実感しました。

私も思いやりの心を持った大人になれるよう頑張っていきたいです。

## 初等教育科

### 教育実習を終えて

2年

甲斐 聡



私は、今回の小学校での教育実習を通して多くのことを学びました。短大で、日々勉強に励み、教育実習の準備は大丈夫だろうと思っていました。しかし、実習先で子どもと接してみても、改めて教師という職業の大変さとまた同時にやりがいを感じる事ができました。

最初に感じたことは、教師という職業の大変さです。スクー

ルトラリアルや事前実習を通して、教師の仕事の忙しさは理解しているつもりでした。しかし、実習先で担当教師の仕事を見させていただき、スクールトラアルや事前実習では知ることができなかった職員朝礼の様子や放課後の様子も知ることができました。職員朝礼では、次々に報告があり、メモ一つとるにも苦労しました。放課後は多くの先生方が次の日の授業の準備や教材研究、校務分掌の書類作成をされており、私もそのような先生方に少しでも追いつこうと思いました。先生方は、昼休みも児童と遊んで、一日を通して児童のために頑張っておられました。

しかし、この大変さと同時にやりがいも感じる事ができました。私は、実習中に11時間分の授業と、朝の会、帰りの会をやらせていただきました。担当教師から指導案の添削、事後研究会では、多くの先生方から御指導をいただき、大変勉強になりました。私の授業で児童が内容を理解してくれたことや、授業

中困っていると、一生懸命考えて意見を発表してくれたことが、とてもうれしく心に残りましました。何度も指導案を書き直したり、教材を読みこんだりと頑張ったかいがあつたなと感じる日々でした。

夏休みに清武小学校に行き、子どもたちの夏休みの宿題の手伝いをしました。私たち初等教育科一年生の多くは初めての経験でしたので、子どもたちとう接すれば良いか分からず、戸惑う毎日でした。しかし、体験する前は不安だった気持ちが終わってみれば、充実感でいっぱいでした。

### サマースクールを終えて

1年

成合 葵



また、児童の学年に合わせて説明の仕方を変えるなど、臨機応変に対応していくことも大事なことだとわかりました。今回の体験は教育実習前の大切な体験だったので、来年の教育実習で生かせるようにしたいと思います。





## 山のボランテア

1年

光富 貴史



私は7月に、長野県の山へボランテアに行きました。どんなことをしたかという、山に登りながら遭難者がいないかパトロールをしたり、食料を運んだりしていました。去年は遊びで、関西の友達と穂高岳に登りましたが、今年にはボランテアとして行きました。

まずは、去年登った穂高岳と違う槍ヶ岳を目指しました。周りをよく見ながら一日目は平坦な道を進みました。二日目から本格的に道が険しくなり、真上に登るような所もあり大変でした。去年初めて登山をして、初めてにしては難度が高い山に登り

すごく怖かったのを思い出します。天気も悪くなり、最悪のコンディションの中のパトロールでした。

三・四日目は、パトロールしながら食料を運びました。山の上に来たら下るイメージですが、山の上を横に歩いていききました。五日目は自由時間をもらい槍ヶ岳の頂上三一八〇メートルに登りました。天気も悪く、風の強い中必死に登りました。とても怖くてへっぴり腰になっていました。何でこんな山に登ってるんだらうという想いが時々頭によぎります。六・七日目で下山して終了です。

今回は、遭難者もいなかったのよかったです。自分が下手したら遭難者になっていたかもしれないです。山は怖い所です。さっきまで晴れていたのに、急に雨が降ったり視界が悪くなったりします。反対に大自然に触れたり、下山した後の温泉は最高です。山小屋ではお風呂がありません。色んな人との出会いもありました。

私にとって登山は、自然の激しさを知ったり、人との支え合

## 音楽科

### 子ども達の眼

音楽文化総合コース 2年

山内 翔子

実習を終えて、一番印象に残ったのは、子ども達の眼です。

さらさらと輝くその眼の先には、いつも新しい発見がありました。青空に砂場、かたつむりに水しぶき。見慣れた光景のはずなのに、子ども達の眼で見ると全く違うものへと変わります。砂場の砂は胡椒へと変わり、カレーのスパイスにひとふり。かたつむりは言葉が発して会話を繰り返します。忙しさの中にもじつくりと濃い時間があり、久しぶりにしげしげと虫や葉っぱを眺めました。

今までは、毎日が単調で味気ないと思っていたのですが、自分が見失っていただけで新しいものは生まれているのだと感じました。感性豊かな子ども達と向き合うのだから、自分自身の眼を養いたいと思いました。

## オープンキャンパス

1年

児玉 朗弘



一年前の8月4日、私は初めて宮崎学園短期大学に訪れました。オープンキャンパスに参加したからです。期待に胸を膨らませながら大学に向かいました。

私は、初等教育科を希望していたので、初等教育科のコーナーに向かいました。そこでは、今だからこそ分かる、パネルシアターやエプロンシアターの実演をしていました。その頃の私は、こう思いました。

「恥ずかしい、自分には出来ない

いを感じる事ができた良い経験になっていきます。

「と強く感じたことを覚えていきます。そこで、私は入学しようか迷った事も覚えていきます。それでも私は、この初等教育に入学しています。それは、私自身の夢を叶える為です。

いざ入学してみると、己を捨て恥ずかしい動作や表現する機会、今まで経験したことないことが多くありました。やはり、初めは抵抗があつて、中途半端なことしか出来ず、注意されてばかりでした。月日が経つにつれ私自身恥ずかしさも消え、動作だったり表現が出来るようになった気がします。

そして、先日主催者側としてオープンキャンパスに参加しました。私はエプロンシアターを発表しましたが、恥ずかしさもなく、皆の前に立つ事が出来た気がします。オープンキャンパスに参加するのは、その大学そのものの良さを知るのには、もちろんですが、自分に合っているか、又は主催側として参加すること、人前に立てる貴重な経験が出来る機会だと私は考えます。

## 努力すること

演奏コース(管楽器) 2年

弓削 なつみ

私は、中学三年生の時にフルートと出会いました。中学生の時は吹奏楽部に入部し、他の楽器を担当していましたが、フルートに憧れ、レッスンに通うようになりました。そして本学の姉妹校である宮崎学園高校に入学し、朝や放課後に練習したりと日々努力してきました。その成果もあり、高校三年生の時の独奏コンクールで初めて賞を頂きました。とても嬉しかったことを覚えています。

そして技術向上の為、宮崎学園短期大学へ入学しました。入学してからも高校と同じように、毎日欠かさず練習に励み、コンクールへも積極的に出場してきました。今年のコングールでは、毎回曲が異っていたので大変だと思っても多くあり、良い演奏が出来なくて悔しい思いもたくさんしました。

入学してから、今回の音楽科定期演奏会に出演したいと思っていたので、出演が決まって本当に嬉しかったです。本番では、自信

## 思いはいつからでも

科目等履修生

村川 智子



を持って演奏することを心がけましたが、自分の納得いく演奏はできませんでした。日々努力していても、練習と同じように良い演奏をすることはとても難しいというのを、今回の定期演奏会を通して改めて実感しました。最後に、この音楽科定期演奏会に出演させていただいたこと、今まで支え、応援してくれた家族、毎回のレッスンを一生懸命指導してくださった先生、その他の音楽科の先生方にとっても感謝しています。

「午後四時三十分、終了です。」

「解答を集めます。」

東京の日本橋教育会館の会議室で、音楽療法士の認定試験が今、正に終わりました。

昨年の3月に音楽療法の専攻科を卒業し、二種の資格は頂きましたが、もう少し理解する為に勉強したいという気持ちと、その延長線上に今回の試験が行なわれるという事で、今年はいくつかの科目を履修して頑張ってきました。

これまでも私にとって音楽は、楽しいものであり、感動するものであったけれど、この二年間の中で、障がいのある子ども達や成人認知症の高齢者の方々に、言葉ではない音や音楽を使って、考えぬかれたプログラムで、あらゆる方面から刺激を与えてつながっていく。そして、その積み重ねによって対象者の方々が、音で自分を表現していくという場面を何度となく体験させてもらいました。自分を表現できた喜びを顔や身体全体で表わされる様子を見て、さらに音楽の素晴らしさに感動しました。

私は今年、思いがけず、高齢者の施設で音楽療法の仕事をさせてもらえる事となりました。まだ



まだ未熟な私に勉強の場と楽しみの場を与えて頂き、年齢に不安を感じながらも、大変うれしく思っています。

音楽療法とはどんなものだろうと思ひ、35年振りに学び始めたものの、多岐に渡る内容を理解するのには、本当に多くの時間と経験が必要だと思ふ。しかし、それ以上に大きな魅力を感じさせて下さった短大の先生方に心から感謝申し上げます。

## 全国のステージに乗るために

合唱団 2年

横山 夏美

「全国のステージで、私達の歌声を聴かせてみせる！」

私達合唱団は、常にこの気持ち一筋で練習してきました。

高等学校の時から合唱を続けているメンバーが多かったものの、なかなか人数が揃わず、まともな練習があまり出来ないまま県大会に出場しました。

当日は当たり前のように人数は揃いましたが、普段の練習にま

とまりが無かったために、不完全燃焼のまま県大会を終えてしまいました。幸い、金賞を受賞することができ、九州大会への切符は獲得できましたが、反省点がたくさんあり、あまり満足できない金賞となつてしまいました。九州大会は県大会と違い、レベルが一気に上がるので、悔いが残らないよう、自分達のためにも練習時間を見直し、夏休みは集中練習を組みました。ご指導に来て頂いている有川サチ子先生にも出来る限り時間を割いて頂き、暑い中を立ちっぱなしで練習しました。

時には宮崎学園高等学校合唱団の生徒さんと合同練習を組み、お互いに切磋琢磨しながら力を伸ばしていきました。

九州大会では大学部門で一番少ない人数ではありませんが、宮崎の繊細な歌声を精一杯披露し、お客様や審査員の方を少しでも感動させる事ができたと思ひます。

結果は銀賞で、全国大会出場には至りませんでした。メンバー一人一人が頑張った成果です。満足できるステージでした。

これからも合唱団は、歌という形で感動と希望を届けます！

## 夢の舞台が与えてくれたもの

音楽科演奏コース（金管楽器） 2年

田部 富貴子

昨年、私は8月に東京で行われた全日本ジュニアクラシックコンクールで、大学生金管部門で1位を受賞することができました。これはご指導して下さいました先生はもちろん、家族や学友達の支えがあったからこそその賞となりました。私はこのコンクールの全国大会へ出場するまで様々な経験をしました。

演奏する曲へ真剣に向き合ったり、ピアノとの多くの伴奏合わせはもちろん、演奏だけではなくプレッシャーに負けないための精神力、練習を欠かさず続ける忍耐力など多くの事を経験することができました。このことは、これから社会の一員となる自分自身にはあります。自信を与えてくれました。

全国大会という夢の舞台に立つ事ができたこと、またこのことで得ることができた様々な経験を糧にし、これからの日々を大切にしていきたいと思ひます。



## 音楽が引き出すもの

音楽科演奏コース（声乐） 2年

新町 友梨

私は、宮崎市総合発達支援センターの通園部で十日間の音楽療法臨床実習をさせて頂きました。臨床実習の実践はもちろん、一日を通して保育を行うのは初めて

のことで、実習が始まってからも緊張と不安でいっぱい毎日過ごしました。

私がメインセラピストとしてセッションを行ったのは九日目でした。それまでは担当グループの先生と打ち合わせを何度も行い、時には短大の先生にアドバイスを頂くこともありましたが、体を動かすことが好きな子どもが多いということからプログラムを考えました。「ただ体を動かせばいいというわけではなく、肢体不自由の子どもへの配慮や援助、気分を崩しやすい子どもへの活動への促し方など、対象となる子ども達一人ひとりのことをよく考えた上でプログラムを考えなければならぬ」とご指導を頂きました。何度も打ち合わせを重ねた結果、音に合わせて体を動かすリズムムーブメントを主活動に行うことになりました。緊張しながら迎えた実践では、リズムムーブメントの中でキーボードの音に合わせて犬や猫などの動物模倣を楽しく行う子ども達の姿が見られました。しかし途中で「次はキリンがいい」「ライオンはないの？」と子ども達からリクエストがきたのです。用意していない動物のリクエストはまったく予想



## 音楽療法を学んで

音楽科音楽療法コース 2年

中村 莉子

私が初めて音楽療法という言葉に耳にしたのは、高校二年生の時でした。幼い頃から、音楽が好きだった私は、音楽療法という言葉に一瞬で惹かれていきました。そして、この学校で音楽療法を学ぶことができるということを知り、入学しました。

音楽療法の授業では、楽器を使って表現したり、音楽を聴いて

体を動かしたりして、表現の幅を広げることの大切さを学びました。

また、音楽療法臨床実習では、知的障害者施設で音楽療法を実践しました。セラピストとして、一からプログラムを考えることにとても苦戦しました。活動をセラピストとして回すのは初めてだったので、不安でいっぱいでしたが、対象者の皆さんが笑顔で活動に参加されている姿を見て、私まで楽しくなりました。

実習で毎日、利用者の皆さんの姿を見て改めて感じたことがあります。それは、音楽によって心が豊かになるということです。利用者の皆さんは、「歌うことが好き。音楽の時間が楽しみ。」と言っていました。素敵な笑顔で楽しそうに音楽療法のセッションに参加されている姿を見て、私は胸が熱くなりました。

これからの時代、音楽療法は必要だと思ひます。もっと多くの人に音楽療法の素晴らしさを知ってもらいたいです。私は、この学校で音楽療法を学び、貴重な体験をすることができました。将来は、音楽療法で身につけたことを活かした仕事をしたいです。



「インターシップを体験して」

社会人に向けて  
見えてきた道

文化ビジネスコース一年

末吉 美里



青島少年自然の家にて

私は今年、8月8日から8月12日までの五日間、青島青少年自然の家にて企業実習を行いました。この五日間で私はこれからの学生生活、そして社会に出るから必要になってくる大事なことをたくさん学ぶことができました。

その中でも一番大きかったのは、様々な年齢の人々と触れ合うことで身につけることができ、コミュニケーション能力です。私が企業実習にあたってこの青島青少年自然の家での実習を希望したのは、たくさんの人

との触れ合いがそこにあると思っただけです。私がインターシップ活動を行った五日間の間にも、小学校に上がる前の子から、私の父母よりも年上の方まで幅広い年代の方々と触れ合うことができました。そんな方々とコミュニケーションを取っていく上で大事であると気付いたことは、言葉の選び方や話し方には特に注意しなければならぬということでした。私

たちの年齢なら普段から使っている言葉も、相手によって別の言葉に言い換えたり、身ぶり手ぶりも加えながらできるだけ相手にわかりやすいようにすることが必要だということがよく分かりました。

また、インターシップ中に私は青少年の家の方からたくさんのお話をいただきました。それは、外に出て帰って来てからの「お疲れ様」の一言だったり、「お茶、どうぞ」という心遣いであったり、「人生は日々勉強」という深い言葉だったり、その言葉のおかげで私は五日間を乗り切ることができたのではないかと思います。

目配り、気配り、心配り、これらに言葉をつけ加えて相手に接することができるとは、社会人になることが、私の一番の目標です。

司書という仕事の裏側

国語国文コース二年

井上 藍



宮崎県立図書館にて

私は、宮崎県立図書館で二週間の実習を行いました。

実習の内容として、まず開館準備をすること。開館準備では、閲覧室の書架整理、閉館後に返却された図書の手続き、手続きの終わった図書の配架をしました。始めのうちおぼつかない様子でしたが、二、三日するとある程度動けるようになっていきました。

実習の前半は、カウンター業務を中心に、貴重書、書誌データ（図書のラベル）の作成を中心に行いました。

まず、貴重書を貴重書庫という専用の書庫に収めました。書物自体が古いため素手で触らず布手袋を使い所定の位置に収めていきます。

次に、書誌データの作成をしました。細かい書き込みが多く、常に十進分類法について書いて

ある本と見比べながら書いていきます。新しい図書を隔々まで見て作業をしなければならぬので、インターネットも駆使して制作していききました。

実習の後半では、カウンター業務の継続、ごく一部の人がかかせてもらえない襖はがしという作業と、児童室での読み聞かせ、特設コーナーの設置を行いました。

まず、襖はがし作業をしました。昔の襖は張替の際の土台に古新聞などを敷きます。それが貴重な資料となるため、一枚ずつ霧吹きで水をかけながらはがしていきます。糊がしっかりとついているため、破れてしまうものもあり、全員が集中して作業をしていきました。

次に、児童室で読み聞かせの見学をし、その後実際に子ども達に紙芝居と絵本の読み聞かせをした。読み聞かせと同じように、手遊び歌などを一緒にやって子どもたちの緊張をほぐしていきました。

最後に、図書館の郷土資料室と、医療スペースに特集コーナーを作らせてもらいました。自分たちで書籍選びからレイアウトまでやっていきました。図書館ではこのような特集を多く組んでいます。

この体験を通して、普段利用している側からは見ることのできない図書館の裏側を知ると共に司書という仕事をより深く知ることができたと思えました。

教師になるということ

国語国文コース二年

前田 里菜



新田学園1年A級にて

授業に関しては、実習前に下調べをしたつもりでしたが、いざ教壇に立つと忘れてしまったことがいくつもあり、生徒に説明不足のまま、授業を進めてしまいました。私の拙い授業でも生徒たちは自分なりに解釈をしてくれて、積極的に授業に参加してくれました。

授業というものは一回きりの真剣勝負だということを実感し、授業という素晴らしいドラマを作り上げる努力の大変さを感じました。

沢山の人たちに助けられた三週間でできたのではないかと思います。

三週間ってこんなに短かったつけ？と思うほどあっという間でした。新田学園で実習できると本当に良かったです。

社会人へ向けて第二步

医療事務医療秘書コース二年

清武 倫子



古賀総合病院にて

今回で二度目の同じ医療機関での実習だったため緊張感を持つことは大事ですが一度目とは違う新たな気持ちで実習に励みました。

一度目の時は見学が主でしたが今回は十日間という、わずかな期間で私は産婦人科の病棟クラークの実習をさせていただきました。

病棟クラークというのは患者さんと医師や看護師などの医療スタッフの間をつなぐ仕事でナースステーションにて事務的な業務を担当しています。いくつか仕事内容を挙げると、赤ちゃんが産まれた時に性別などを記録するベビーカー作成や入院される患者さんのカルテ、ベッドネーム作成、退院される患者さんのカルテの整理など、他に患者さんとは別に看護師の方の出勤簿を作成したりと仕事内容はとても幅広いです。しかし、今挙げた仕事内容などを病棟クラークが行うことで医師や看護師などの医療スタッフの方は、より医療業務に専念でき、そして患者さんと向き合う時間も増えるので

はないかと今回の実習で気づきました。また、病棟クラークという役割は大変大切な存在だということもわかりました。

また、担当の方からのアドバイスを印象に残っている言葉があります。それは、当たり前かもしれませんが、誰にでも明るく挨拶すること、覚えておいてくれたり、もしもの時に手助けしてくれたり、うまくコミュニケーションをとれるようになるためにも挨拶は大事だということ。確かに挨拶をするというのは基本です。しかし、挨拶することで、コミュニケーションがうまく取れたりするというのは知らなかったのが大変勉強になりました。また、何の仕事でも優先順位をつけて行うことで効率アップにつながるなどといったアドバイスもいただきました。このように医療スタッフとしてのアドバイスもですが仕事をすることで、社会人となる上でのアドバイスも頂き、自分自身のためになりました。いろいろとご指導くださった医療スタッフの方にも大変感謝しています。

今回の実習で学んだ事を忘れず、自分が社会人になった時に、ちゃんと実習の時のアドバイスが自分のものになっていくようにしたいです。

本当に実りある充実した実習でした。

5月28日から6月15日までの三週間、母校である新田学園で教育実習をさせていただきました。

実習前とはかく不安と緊張でいっぱいでしたが、実習初日に私の担当クラスの1年A級の



### 人とのつながり

JR九州宮崎駅

落合 かすみ



私は宮崎学園短期大学を卒業後、JR九州宮崎駅に勤務しています。入社して二年目、まだまだ未熟で失敗することもたくさんあります。そんな時、先輩から失敗は何度してもいい、ただ同じ失敗は繰り返さないこと、失敗は成功のもとという言葉をかけてもらい、私の励みになって

います。失敗することがあってもまた一つ勉強になったと、仕事に対して前向きに思えるようになりました。

毎日いろいろなお客様と接しますが、お客様から温かい言葉をかけて頂くこともあります。一番心に残っているのは、電話対応での出来事でした。あるお客様から電話でご旅行のお問い合わせがあり、その際対応したのが私だったので、後日そのお客様がわざわざ窓口まで直接お越しになり、「電話で問い合わせた際にいろいろと教えて頂き、助かりました。ありがとうございます」というお言葉を頂きました。私の名前まで覚えて下さっていたようで、そのお言葉にとても感激しました。毎日何本もの電話での問合せを受けていますが、自分の案内一つでこんなにも感謝して下さるお客様もいらっしやるんだと身が引き締

まる思いでした。このように失敗も喜びも、人とのつながりの大切さも感じられるやりのある仕事です。この就職難の時代にこんな恵まれた仕事に就けたことに、今心から感謝しています。

これも、就活の時に支えて下さったキャリア支援室の先生方のおかげだと思っています。就活の際には、なかなか内定が決まらず悩んでいましたが、キャリア支援室の先生に今の職場の求人を探すので頂き、その支援のおかげで今のJR宮崎駅に勤めることができました。親身になって相談のつて頂いた先生方には今でも本当に感謝しています。

今、就活中の在校生のみなさんにも、悩んだことをまずは周りの先生方に話してもらいたいです。きっと先生方が力になってくださるはずです。人とのつながりを大切にしてほしいと思います。

### 仕事をする中で 気をつけていること

株式会社DNP西日本  
宮崎営業所

黒木真奈美



仕事を始めてから、早いもので一年が経とうとしていきます。この間に新しい環境や人との出会いがあり、沢山のことを学ばせて頂いています。その様な日々を過ごす中で私に気がつけていることが二つあります。

一つ目は、意識することです。私は入社した頃の頃、電話対応が苦手な電話のベルが鳴るたび、内心困っていました。

ですが、先輩のように丁寧な電話対応をしたいたいと思い、その後、会社にかかってくる電話は全部自分が対応するよう意識し、とにかく電話を取るよう心がけました。また、先輩がお客と会話している言葉遣い等を聞いて、言い回しを考えてみました。気がつく、前のような不安はなくなり、少し余裕をもつことができるようになりました。意識して、改善することを心がけることで少しずつ前に進めることができるのだと気づき、今は常に苦手なことに積極的に取り組むよう心がけています。

ちで働くことができると思います。一時的なものではなくて、忙しい時でも思いやりの心を忘れないよう気をつけたいと思います。

右記のことを心がけ、会社(営業所)の一員として、今までの以上に仕事に取り組み、様々な経験を通してより成長できるよう邁進していききたいと思えます。

### 「ありがとう」の為に

古賀総合病院

平田 美穂



私は、短大の医療秘書コースを卒業し、平成二十四年四月から古賀総合病院に就職し、MSとして外来

で勤務しています。MSとはメディカルセクレタリーの略で、医療機関において上司、所属部署などの業務を補佐する医療従事者。スケジュール管理や書類作成などの一般的な秘書業務の他に医療事務やコメディカル間の連絡調整など幅広い業務を担当するものです。配属は内科外来で、一日に三百名近い患者さんが来られる外来の受付業務を行っています。日々、カルテや書類処理、患者対応、電話対応に追われています。この学校で取得した資格は、大きな強みになりました。今は資格も専門的になっていきます。有資格者だからこそできる業務があるということ。をまさに今感じています。今持つ資格だけではなく、これからもチャンスがある限り、資格の取得に励みます。

医療の現場は緊張の連続です。実習とはまた違った雰囲気の中で仕事をしています。患者に問われること

を確実に聞き取り、不明な点を曖昧にせず医師や看護師、上司に相談して対応しています。時には忙しさのあまり看護師に聞くのを躊躇したり、時間がかり患者さんに迷惑をかけてしまい申し訳なく思うことがあります。しかし、日々の業務の中、僅かな患者さんとのかわりの中で、「ありがとう」の言葉を頂けた時は本当に嬉しく思います。短大で学んだことは全て今の自分へと繋がっています。医療の基礎知識などはもちろんのこと、なにより学友や先生方との関りが深くできたからこそ、相手を思いやることや敬うこと、痛みに寄り添うことの大切さを学べたのだと感じています。まだまだ、業務を覚えることで必死ではありますが、この初心を忘れることなく、プロ意識を持ってやっていきたいと思えます。なによりも、窓口で一番に患者さんに安心して頂けるよう笑顔で日々頑張っていきたいと思っています。





## 専攻科

### 専攻科の二年を 振り返って

福祉専攻

谷川 みさ子



五十四歳の私は、自由で、人間関係も充実して、若くもなく、かといって高齢者という歳でもない。人は、「何で今さら勉強なんて、それも介護はもう少しでされる側になるの!」と言いました。実父の介護に負われ単調な日々を送っていたとき、デイサー

ビスの送迎で出会う介護士の笑顔が特別なものに感じられ、「あの笑顔はどこから来るものだろうか」と考えるようになり、そのことがきっかけで専攻科に入学しました。  
視力、体力、記憶力、そして、三十も歳の違う学生と上手くやっけていけるか、一人孤立してしまうのではないかと、後になって不安になりましたが、頑張るのみです。日々いろいろな場面で世代の差を感じながらも、苦手なパソコンに触れる際は、近くに居る学生を呼び止めあれこれ聞いて手を動かしているうちに、なんと便利でおもしろいものかということを知り、教科書を開いては、知らないことを知るワクワク感を覚えました。

そして、入学してからこれまでに三回の実習を経験しました。利用者とのコミュニケーションは難しく苦手意識がありました。年齢的に近いということや、結婚や子育ての経験は大事な話の要素となり、そのような引き出しが利用者との会話をする際に役立つことに気づきました。また、身体介護の場面では、学内で経験したオムツ体験や、入浴演習などを通

して利用者の気持ちが身近に感じられ、利用者一人ひとりと関わる中で、「誰かに声を掛けてもらいたいのではないだろうか」「寂しい気持ちを抱えているのではなだろうか」ということを考えるようになりました。  
このような経験を経て今は、私には私のできることがあるのではないか。一人ひとりの思いを受け止め、寄り添いながら支援できる介護福祉士を目指したいと思っています。最後に、ここで出会った学友と先生方をはじめ、みんなの力を借りてここまでやってこられたことに感謝をしたいと思います。



### 人をもつめる音楽療法

音楽療法専攻

池田 ひとみ



私は、十一月二十六日から二週間の知的障がい者の施設で音楽療法の実習をさせていただきました。音楽療法を学んで三年目ということ、重度の対象者のセラピーを実践させていただきました。計画を立てる上で対象者がどのような方なのか、楽器の操作はどの程度出来るのかなど、対象者像をしっかりとつかんだ上で、目的を立てて活動の内容を決めたり、対象者に合った楽器選びを行いました。セラピー

ストの先生のご指導を受けながら、一つ一つ活動を深く絞ってロールプレイを行い、実践に移りました。実践をしていくと、対象者の表情があまり変わらなかったり、反応が小さなものであったりと、反応がよく返ってくる対象者と比べるとやりづらさを感じました。しかし、よく注意して見ていると、指先をかすかに動かして反応をしていたり、一瞬だけ表情が明るくなったりとごく限られた中での変化を見ることができました。この実践を通して、セラピーを行う上での活動一つ一つにしっかりとした目的、目標を持つて行うことの大切さ、そして何よりも対象者一人一人の姿をしっかりと見つめるということを学びました。これから実践をしていく上で、対象者に対しての適切なサポートの仕方身につけたり、セラピーを行う上では、どんなに小さな変化であってもしっかりと受け止め、対象者の良い発展につなげていけるように自分自身も成長していかなければならないと思いました。





# ニューライフ・アカデミー

生涯学習推進委員長 原田真理

本学では、教員の専門を生かした一般向けの講座を開いています。宮崎学園短期大学ニューライフアカデミーと称するこの講座は毎年行われており、多くの方々々が楽しみに受講されています。平成24年度は2月6日、13日、20日、27日の計四回実施しました。内容は別表のとおりで、文学や人権についての講義、美術でペーパーウエイトの製作、音楽と幅広い内容になりました。

2月6日の第一回には、開講にあたって山下忍学長の講話もありました。新聞の大切さに触れ、人が成長する力のすばらしさを熱く語る姿に一同大いに刺激を受けました。かつて担任されたクラスの学級日誌を示されましたが、それは高校一年生の一年間の成長ぶりがかたちとなって残された、まさに宝物と呼ぶにふさわしいものでした。そして、人が学び成長するのに年齢は関係ない、意欲があればいくつになっても学べるし学ぶことを楽しむことができるかと話されました。受講生の方の感想として、「学長さんの講話にいたく感動しました。たくさんの元気、勇気を頂きました」「山下学長の言葉が人を支えている」本当に私自身実感しております。新聞から様々な先生の学びを大切にしたいと感じました。山下先生の熱いお話に、73歳の私も頑張ろうとおもいました。新聞から学ぶ姿勢をもちつづけていきたいと思います。

ニューライフ・アカデミーを受講されるのは、五十代から八十代までの方が中心となっております。学校を卒業してから数十年、授業を受けるのは本当に久しぶりですとおっしゃる方が多いです。しかし、授業を受けることを心から楽しんでおられ、教室は心地よい緊張感に満たされています。学長の挨拶にもありました、このように講座に期待し喜んでくださる方々に支えられながらニューライフ・アカデミーを大事に継続していきたいと考えています。

	平成24年度講座内容	講師
第1回	開講式・学長講話「清少納言の父 清原元輔」	山下 忍 学長 原田真理 教授
第2回	「身のまわりの人権 ～仲良く気持ちよく過ごすために～」	米良栄州 教授
第3回	「石(着色や粘土を足して)でオリジナルペーパーウエイトを作りましょう」	高橋 裕 教授
第4回	「身体という楽器が奏でる～私が歌う理由(わが)～」・閉講式	末平浩康 教授



学長講話「一冊の学級日誌」



「身の回りの人権」



「石のオリジナルペーパーウエイト」



「身体という楽器が奏でる」

# 生涯学習推進委員会

## 子育て支援セミナー



平成24年度も本学交流センター研修室で子育て支援セミナーを開催しました。おかげさまで多くの参加者があり、本学の教育力を地域の皆様方に提供し、喜んで頂くことができました。ありがとうございました。

このセミナー運営には保育科、初等教育科、音楽科、人間文化学科の教員が関わり、それぞれの専門性を発揮し、ユニークなものとなりました。本学学生も受付などのお手伝いの他、楽器演奏、パネルシアターの実演等を行いました。幼児や保護者と触れ合い、教員学生共に勉強になりました。

今後も子育て支援セミナーは継続してまいります。来年度の実施については、期日が近づきましたら本学ホームページに掲載する他、宮崎市内の子育て支援センターにチラシを届けてご案内いたします。「卒業生なので関心があり、参加した。」との声も聞かれました。大変嬉しく思っております。保育に関心のある方、0歳から就学前の子どものいらっしゃる方どうぞご参加ください。

子育て支援セミナー担当：守川美輪

7月23日	わくわくコンサート	演奏 宮崎賢二 田中幸子 末平浩康 中武亮子 音楽科学生
7月24日	親子ふれあい音楽あそび	講師 山下恵子 後藤祐子
7月25日	午前の部 さわっていれてひっぱってあそぼう ミニ講座：子どもと一緒に親も育つ 午後の部 野菜のおはなし・あそび ミニ講座：おやつアドバイス	講師 黒瀬美智子 中武亮子 棕木香子 守川美輪 後藤祐子 坂元マモル
7月 24日・25日	子育て・発達相談コーナー	担当 山下恵子 川越志保



# 教員免許 更新講習について

黒木 國泰

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により、平成21年度にはじまった教員免許更新講習は、今年で5回めをむかえることになりました。この教員免許更新制度のねらいは、その時々で教員として必要な最新の知識技能を身に付けることです。

本学は、幸い初年度から幼稚園教諭対象の更新講習を行うことができました。それは本学が、幼稚園教諭の入学定員レベルで260人(保育科210初等教育科50)という全国規模での大きな養成課程をもつからです。当初から、宮崎大学からも幼稚園教諭対象の更新講習は本学に委ねられました。

講習を開くことは、本学が宮崎県における幼児教育の中核的な教育機関であるための責務でもありません。以来、本県在職教員の免許管理者である宮崎県教育委員会(教職員課更新講習担当)と連携しながら、更新講習を実施してきました。

昨年の本学開催の講習時期と内容は、8月第2週の7日8日の2日間の必修講習(教育の最新事情に関する事項)と9日10日の2日間の選択講習(教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項)でした。

平成24年度も宮崎学園短期大学主催の保育研修会を7月と11月の2回開催しました。

7月には本学の学生が音楽療法の集中講義でもお世話になる、菅田真理先生とデイトマー・エター先生による音や声、それを感じる身体の動きについての楽しい講座が行われました。

菅田先生は世界的に著名な音楽教育家カール・オルフが設立した『モーツァルトウム芸術大学オルフ研究所』教授で、学生や子どもたちの指導に当たっておられます。エター先生は同じくザルツブルグで声楽家として活躍されています。お2人で世界各地の音楽を取材され、それらを教材として活用されますので、今回の講座は、様々な音楽体験ができる楽しいものでした。

11月には、本学附属みどり幼稚園園長・本学准教授の和田政吉先生による講話「保護者対応のありかた」、本学准教授、守川美輪先生による演習「畑のはなし(製作と表現)」の2講座を行いました。

和田先生は幼稚園長としての経験も踏まえ、子どもの怪我、障がい、いじめ等を含む様々な事例を

制度で義務づけられた講習時間は、必修講習が2日間の12時間、選択講習は1日6時間単位での3日間18時間です。したがって本学開設の選択講習は2日間なので、あと1日6時間分については宮崎県私立幼稚園連合会などの講習を受講することによって満たしていただきます。

この講習を受けて、その日の内に実施される試験に合格すれば、履修証明書を本学が発行します。この合わせて30時間分の履修証明書を添えて、免許管理者の県教委に更新講習修了確認の申請をします。ぜひお忘れ無く、この申請をお願いします。

免許管理者が更新講習修了を確認すると、教員宛に「更新講習修了確認証明書」を発行します。これにより、最初の修了確認期限後も、引き続き教員免許状が10年間は有効となり、教諭としての職を継続できます。

更新講習の対象者は、当分の間は、平成21年3月31日以前に授与された免許状を持つ方々です。注意しなければならぬのは、生年月日に対応して更新講習の受講期間及び免許管理者への更新講習修了確認申請期間が定められていることです。この点、文部科学省のホームページ「教員免許更新制」をご覧ください。



## 保育研修会を開催して

保育研修会担当 中武 亮子

挙げながら参加者と共に保護者への対応を参加者と共に考えていく内容で講義をされました。また、守川先生は「オリジナルのおもちゃを見せる」、「それを使って演じる」、「さらに「おもちゃを実際に作る」と3拍子揃った内容の濃い演習でした。

いずれの講座においても、参加された先生方は日頃の経験を活かして生き生きと活動され、同席した学生や本学の教員にとっても学びの多い時間になりました。

保育研修会は、今年で4年目を迎えました。毎年現場の先生方のご意見をいただきながら、様々な内容で開催してきました。今回も参加者の方々にアンケートのご協力をいただきましたので、来年度以降もそれらのご意見を参考に、本学教員による特色のある研修会を開催したいと考えます。





# サークル活動紹介

## 「野球部の紹介」

保育科2年 新名和貴

私たち野球部は、部員15名のサークルです。保育科の男子学生を中心としています。専攻科も含む他学科の学生や、女子学生も在籍しており、学科・性別に関わりなく皆で和気あいあいと野球を楽しんでいます。一方では、九州各県で行われる大学対抗の大会にも参加し、真剣さと楽しさの両方を備えたサークルです。今年度卒業するメンバーもいますが、来年度はどのようなメンバーが入ってくるか、楽しみでもあります。



野球部

## 「チームワークの大切さ」

専攻科福祉専攻 佐藤直希



サッカー部

私たちサッカー部はマネージャー2名、選手8名の計10名で活動しています。活動内容は主にサッカーの練習でパス回しやゲームを主にやっています。なかなか活動がみんなでできないときもありますが、「みんなでできるだけ一緒に参加して楽しく」をモットーに活動をしています。実習等が重なったりして、活動でき

る日が少なかったのですが、活動できるときは安全にそして楽しく練習を行っています。また、練習後に食事会などを開催し、みんなでコミュニケーションを図り、チームワークの向上などに努めています。サッカーはチームワークが命のスポーツなので誰が何を考えているのか等も共有しています。また悩みごとなどもみんなの良い方向に解決できるようにしています。

## 「協力の成果」

人間文化学科 国語国文コース2年 廣末沙織

私は文芸漫画研究会の部長として一年間部員をまとめてきました。その中でも一番思い出に残っているのは、秋の忍ヶ丘祭での部誌販売です。部員のみならず各々作品を持ち寄って一冊の本を作り上げました。途中製本がうまくいかないなど苦労も多かったけれど、出上がった時の喜びは一人でした。部誌は合計五十冊作りました。最初は期待しておらず、多く売れ残るだろうと思っていました。しかし忍ヶ丘祭当



文芸漫画研究会

日、部誌は思った以上に好評で、たくさんの人に買って頂きました。結果、作った本五十冊が全て完売しました。前日まで部員全員で部誌の作成をしたり、宣伝の為にチラシやポスターをみんなで作りました。このようなみんなの協力があってお陰で、部誌も完売したのだと思います。私自身、部長として部員をまとめる大変さ、一つの物を完成させる楽しさ、みんなと協力してやっていると、とてもいい経験になりました。

## 「楽しむ心」

初等教育科1年 鶴伸一郎



陽だまり部

ていただきました。また宮崎県をあげての祭「えれこつちや宮崎」の市民総踊りにも参加し、とっても楽しかったです。陽だまり部は、来れる時に参加するという部のきまりがあり、毎回顔ぶれが違うという面白さがあります。でも、イベントやボランティアには真面目に参加する不思議な部です。来年度も、数多くのイベント等などに参加したいと思っています。

## 「仲間への思い」

保育科2年 原田美紀



バドミントンサークル

バドミントンサークルでは、みんなで楽しむことを目的として活動してきました。活動時間は少なかつたですが、バドミ

ントンを通して共に楽しく汗を流すことで部員同士の仲も深まったと思います。短大生活の二年間、保育の勉強だけでなくサークル活動に参加することで仲間への思いも増え、良い刺激になりました。来年の春からは保育士となり、忙しくなるとは思いますが、これからもバドミントンを続けていきたいと思っています。

## 「楽しい吹奏楽をしよう」

音楽科2年 田部富貴子

こんにちは。私は吹奏楽部で部長をさせていただいている田部富貴子です。今年度の吹奏楽コンクールでは銅賞を受賞し、部員たちは悔し涙を流しました。そこで私たちは「楽しい吹奏楽をしよう」と決めました。秋の忍ヶ丘祭でのステージ演奏、社会人楽団との人数での演奏、学内でのクリスマス野外コンサートなどを行いました。一つ一つの演奏を終えるごとに部員たちに活力や自信を与えていき、「次のコンクールでは同じことを繰り返す訳にはいけない」という気持ちが一層強くなっていきました。

今では新役員が決まり、後輩たちが宮崎学園短期大学吹奏楽部の伝統を守ろうとすると同時に、多く残る問題に立ち向かっています。私は、これから吹奏楽部に関わる人たちに「楽しい吹奏楽をしよう」という気持ちを忘れずに演奏をすることを心から応援し、宮崎学園短期大学吹奏楽部の一番のファンであり続けたいと思っています。



吹奏楽部



「このものを作るといって」  
初等教育科2年 都甲真実



合唱団

今年度の活動を振り返って思うのは、やはり合唱は、その合唱にかかわる人全員で作りに上げるものなのだという事です。

今年度は部員数が少なく、多くの方に手伝っていただき、練習では「一人一人の声を響かせる」ということを目標に、お互い指摘し合いながら取り組みました。しかし、全員が揃わない日があり、練習が進まないという時もありました。そんな時は、参加できない部員の分もカバーできるように、参加した人が後日指導いただいたことを伝えるようにするなど、全員で作りに上げるということを意識した練習をして

きました。結果、全国大会に出場するとはできませんでした。が、部員と共に精一杯演奏することができ、よかったです。また、一つのことを作るには協力し合うことが必要だということや学ぶことができました。このように学んできたことを来年度の活動や、他の活動でも生かしてほしいなと思います。

「心遣いの学び」

人間文化学科 国語国文コース2年

中村有希



茶道部

私たち茶道部の活動は、日々のお稽古の他にも、夏のオープンキャンパスでのお茶のおもてなし、宮崎大学茶道部との和菓子作り、秋の忍ヶ丘祭でのお茶

会などをしました。毎週のお稽古では、作法を学び美しい季節や花に触れ、四季を感じながら充実した一年間を過ごすことができました。

一番の学びは、お茶会での「おもてなしの心を表現する」ということでした。自分たちがおもてなしをする側になることにより、心くばりや日本古来からの細やかな感性の素晴らしさを改めて実感することができました。そのおかげで、日頃何気ない場面でも相手からの心遣いに気付き、感謝の心を持てるようになったと感じています。

茶道を通して学んだ所作の美しさや相手への心遣いは、日々の中でも生かせる場面が多くあります。日本人の温かい心を大切に、今後も深く茶道を学んでいきたいです。

「素晴らしい仲間の姿」

初等教育科2年 山元友希江

私達バレーボールサークルは、毎週火曜日と金曜日に活動をしてきました。先輩、後輩は関係なく、バレーボールを通して仲良く活動できました。経験者も未経験者も混じってゲームを

し、素晴らしいスパイクやカットが出る中、珍プレーも続出し、楽しい時間を過ごしました。経験者が少なく、四月はどうなることかと思いましたが、人数が増えたり、メンバーのプレーが上達したりして、ゲーム中のラリーが続くようになりました。実習期間中は、少ない人数で活動をし、実習を終えると、みんなバレーボールをした後に、色々な話をすることもありました。冗談を言ってもありますが、真剣な話をする時はみんなが親身になって話し合いをしました。バレーボールサークルでは、素晴らしい人間関係を築きあげることができ、一年間とても楽しく活動できました。



バレーボールサークル

# 平成24年度 就職状況

(平成25年3月5日現在)

## 就職指導課

	保 育 科	初等教育科	音 楽 科	人間文化学科	専 攻 科	合 計
建設業				1		1
製造業						
卸売・小売業	1			3		4
金融・保険業						
運輸・通信業	2			1		3
電気・水道業						
不動産業						
幼稚園	35	2	1			38
保育所(園)	110			2	14	126
福祉施設	6	1	2		16	25
小・中学校						
同上(臨時)						
音楽教室						
病院・医療			1	10		11
サービス業	1			7		8
保安職業員						
公務員	1					1
専攻進	55		2			57
その他	6	9	3	6		24
合計	217	12	9	30	30	298

### 業種別就職内定者数

### 卒業生就職先一覧

建設業(1名)  
野田建工1名

運輸・通信業(3名)  
旭化成アミダス2名、センコービジネスサポート1名

卸売・小売業(4名)  
ゴローズ・プロダクツ1名、古賀産業1名  
(県外) ナイスクラップ1名、LIZLISA1名

サービス業(8名)

インタースパ1名、綾川商事1名、MCL(市立図書館)1名、宮崎市嘱託司書3名、日南市嘱託司書1名、宮崎県立総合博物館1名

医療・保健業(11名)

古賀総合病院2名、落合内科1名、さかもと歯科・歯科口腔外科2名、谷山歯科1名、戸田整形外科1名、東村歯科1名、けいめい記念病院1名、(県外)うしろ(薬局)1名、

公務員(1名)  
延岡市役所福祉B

ケンルック(薬局)1名

幼稚園(38名)

宮崎学園短期大学附属幼稚園2名、昭和学園幼稚園3名、大宮学園幼稚園1名、大塚あけぼの幼稚園2名、野の花幼稚園2名、光が丘幼稚園2名、あおしま幼稚園1名、ひかり幼稚園1名、平和幼稚園1名、宮崎カトリック幼稚園1名、住吉幼稚園1名、日の出幼稚園1名、南ヶ丘幼稚園1名、めぐみ幼稚園1名、一ツ岡南幼稚園2名、栄ヶ丘幼稚園1名、富高学園幼稚園1名、天童学園幼稚園1名、第一幼稚園2名、三椏学園幼稚園1名、ししのこ幼稚園1名、太陽の子幼稚園1名、あがた幼稚園2名、綾幼稚園2名  
(県外) 西原幼稚園1名、鹿屋幼稚園1名、佐伯市幼稚園1名、湖東学園幼稚園1名



## 平成26年度入試相談会

日時	会場	本学	宮崎	延岡	都城	日向	小林	日南
6月8日(土)		●		●			●	●
6月9日(日)			●		●	●		
7月7日(日)		●	オープンキャンパス					
8月4日(日)		●	オープンキャンパス《予備日:8月18日(日)》					
8月7日(水)			●		●			
8月8日(木)				●			●	
8月9日(金)						●		●
3月9日(日)		●	オープンキャンパス					

\*7月7日(日)オープンキャンパスが中止の場合の入試相談会/7月13日(土)午前中  
\*8月4日(日)オープンキャンパスが中止の場合の入試相談会/8月18日(日)

会場	宮崎	宮崎市中央公民館	日向	日向市文化交流センター
	延岡	延岡市社会教育センター	小林	小林市中央公民館
	都城	都城市コミュニティセンター	日南	日南テクノセンター

各会場では随時説明を行っています。終了30分前までにお入りください。

**夏のオープンキャンパス**  
**7月7日(日) 8月4日(日)**  
**平成26年 春のオープンキャンパス**  
**3月9日(日)**

## 平成26年度学科入試日程

**インタビュー入試** AO入試(自己推薦入試)を本学ではインタビュー入試と呼びます。

エントリーシート提出締切日	試験日	登録書発送	出願期間	合格発表	入学手続締切日
第1回 平成25年 7月16日(火)12時必着	平成25年 7月20日(土)	平成25年 9月末	平成25年 10月9日(水) 10月16日(水)12時必着	平成25年 11月1日(金)12時発送	平成25年 11月22日(金)12時必着
第2回 8月6日(火)12時必着	8月10日(土)				
第3回 9月3日(火)12時必着	9月7日(土)				

入試区分	特待生推薦入試	推薦入試 指定校推薦入試	一般入試(一期) 社会人入試(一期) 外国人留学生入試 帰国子女入試	大学入試センター 試験利用入試(一期)	一般入試(二期) 社会人入試(二期)	大学入試センター 試験利用入試(二期)
出願期間	平成25年 10月18日(金) 10月25日(金)12時必着	平成25年 11月2日(土) 11月8日(金)12時必着	平成26年 1月10日(金) 1月24日(金)12時必着	平成26年 1月10日(金) 1月28日(火)12時必着	平成26年 3月3日(月) 3月20日(木)12時必着	平成26年 3月3日(月) 3月20日(木)12時必着
試験日	11月1日(金)	11月14日(木)	2月1日(土)	—	3月24日(月)	—
合格発表	11月13日(水) 12時発送	11月22日(金) 12時発送	2月12日(水) 12時発送	2月12日(水) 12時発送	3月25日(火) 15時発送	3月25日(火) 15時発送
入学手続締切	12月2日(月) 12時必着	12月13日(金) 12時必着	2月28日(金) 12時必着	2月28日(金) 12時必着	3月28日(金) 12時必着	3月28日(金) 12時必着

## 平成26年度専攻科入試

入試区分	専攻科(一期)入試	専攻科(二期)入試	専攻科(三期)入試	専攻科(四期)入試	専攻科(五期)入試
出願期間	平成25年 5月1日(水) 5月9日(木)12時必着	平成25年 8月29日(木) 9月4日(水)12時必着	平成25年 10月18日(金) 10月25日(金)12時必着	平成26年 1月10日(金) 1月24日(金)12時必着	平成26年 3月3日(月) 3月20日(木)12時必着
試験日	5月11日(土)	9月7日(土)	11月1日(金)	2月1日(土)	3月24日(月)
合格発表	6月4日(火) 12時発送	10月1日(火) 12時発送	11月13日(水) 12時発送	2月12日(水) 12時発送	3月25日(火) 15時発送
入学手続締切	7月4日(木) 12時必着	10月31日(木) 12時必着	12月2日(月) 12時必着	2月28日(金) 12時必着	3月28日(金) 12時必着

※専攻科入試四期・五期は定員に欠員がある場合のみ実施します

### 保育園(126名)

飛江田保育園5名、清武社会福祉会保育園4名、八幡保育園1名、ひがし保育園3名、広瀬中央保育園1名、昭和保育園2名、ふたば保育園5名、生目台みどり保育園3名、花ヶ島北保育園1名、よいこのもり保育園2名、横町さくら保育園1名、ソレイユ保育園1名、あゆみ保育園2名、祇園保育園1名、加納ひまわり保育園1名、浮之城ひまわり保育園1名、南方保育園1名、黒田保育園1名、宮崎至慶保育園1名、石井記念こひつじ保育園1名、くどみ保育園2名、大塚保育園1名、宮崎福祉会保育園3名、たかふさ保育園1名、太田原保育園1名、内山保育園1名、あさひ保育園2名、おひさま保育園3名、木花保育園1名、加江田保育園1名、一ツ葉保育園1名、檜保育園2名、吉野保育園1名、わかば保育園1名、明照福祉会保育園1名、あけぼの保育園1名、めぐみ保育園1名、高洲保育園2名、一真保育園7名、国富東保育園2名、穂北保育園1

名、石井記念にしん保育園2名、石井記念やまばと保育園1名、石井記念都農保育園1名、財光寺保育園2名、大王谷保育園1名、友愛保育園3名、こぼと保育園1名、こひつじ保育園1名、くまた保育園1名、川東保育園2名、都北保育園2名、相愛保育園2名、かたひら保育園2名、宮丸保育園1名、吉尾保育園1名、社会福祉協議会保育園2名、ルンビニ保育園1名、さつき保育園1名、やまびこ会保育園1名、すずらん保育園2名、ぼっぼ保育所1名、あゆみべー保育園1名、旭保育園1名、浄信会保育園2名、南保育園1名、西小林保育園2名、こすもす保育園1名、ひなもり保育園1名、めいつ保育園1名、むつみ保育園1名、大東中央保育園2名、北方保育園1名、串間保育園1名

(県外)あゆみ保育園1名、清光保育園1名、ゆめの森保育園1名、にじいろ保育園1名、あかつき保育園1名

### 福祉施設(25名)

宮崎市総合発達支援センター1名、巴会1名、白浜学園2名、みどり学園1名、ハッピーヒル2名、障害者支援施設翼1名、カリタスの園竹の寮1名、日章野菊の里1名、うからの里1名、サンビュール宮崎3名、三愛園1名、寿幸園2名、住之江1名、しらふじ1名、ゴールデンレイク1名、まりあ1名、乙房苑1名、野尻中央病院1名、わかば1名

(県外)原病院1名

### 大学編入等(24名)

愛媛大学教育学部2年次編入、大阪教育大学第二部3年次編入、宮崎看護専門学校、福岡スクールオブミュージック専門学校、ヒューマンアカデミー、日本デザイン学院

### 専攻科進学(57名)

宮崎学園短期大学専攻科福祉専攻53名・宮崎学園短期大学専攻科音楽療法専攻4名



# 科目等履修生募集

宮崎学園短期大学では、科目等履修生を募集しています。この制度は、希望される授業科目を履修し、単位を取得する制度です。

社会人の方で勉強されたい科目1科目からでも履修出来ます。本学での勉学を希望される方は是非ご応募ください。下記は科目等履修生募集要項となります。

## 科目等履修生 募集要項

**応募資格** 高等学校を卒業した方。またはこれと同等以上の学力があると認められる方。

※教育実習・保育実習等の受入は、原則として本学の卒業生となります。  
※保育科、専攻科の履修の場合は、お問い合わせください。

**応募方法** 下記の出願書類を同封して、下記まで持参又は郵送（書留）してください。

《送付先》〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙14-15 宮崎学園短期大学 教務係 **TEL:0985-85-0146**

### 出願書類

- ①科目等履修生志願書（本学所定用紙）
- ②検定料（10,000円）※郵送の場合は郵便為替
- ③履歴書
- ④最終学校の成績証明書
- ⑤最終学校の卒業（見込）証明書
- ⑥健康診断書  
（検査項目：身長・体重・視力・聴力・胸部X線・尿検査一般）

※本学を卒業後引き続き科目等履修生として志願する場合は、検定料と①の書類のみ提出

### 選考 書類選考及び面接

※出願期間、日程については、<宮崎学園短期大学学務課>までお問い合わせください。

### 履修費用

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| ①登録料..... 初回のみ <b>3,000円</b>            | ③介護等体験..... <b>8,400円</b> |
| ②授業料等（1単位につき）..... 講義・演習 <b>13,000円</b> | ④保険料..... <b>年1,340円</b>  |
| ..... 実習・実技 <b>22,000円</b>              | ※上記金額は、平成24年度前期志願者の実績です。  |
| ..... 音楽科実技 <b>50,000円</b>              | ..... 実習費については別途徴収        |

**単位認定** ○科目等履修生として履修し、試験に合格した科目については単位を認定します。

○将来、正規の学生として本学に入学した場合には、科目等履修生として履修した単位は卒業単位として認定されます。

○本学で科目等履修生として履修した単位は、大学評価・学位授与機構の認定する単位とはなりません。

### 授業期間・授業時間について

- 1時限** 9:05~10:35   **2時限** 10:45~12:15   **3時限** 13:00~14:30   **4時限** 14:40~16:10

※集中講義の場合は、上記時間帯と異なることがあります。

学び続ける卒業生を応援します。

# 介護福祉士資格

## 国家試験免除は平成26年度まで!

高齢化でますます高まる医療・福祉専門職へのニーズ

医療・福祉就業人口は2020年には

**1.4倍に!**

※独立行政法人労働政策研究・研修機構が2010年12月に公表した「産業別就業者数の将来推計」から。

「介護福祉士」を取得し、キャリアアップを目指しませんか？



これまででは本学のような介護福祉士養成施設を卒業すれば、自動的に介護福祉士資格が取得できてきましたが、法改正により平成27(2015)年度からは養成校を卒業しても、国家試験を受験しなければ資格取得できなくなりました。国家試験が免除されるのは平成26年度（平成26年4月専攻科入学）が最後です。既に「保育士」「幼稚園教諭」をお持ちのみならず、本学専攻科の1年で3つ

保育科卒業生のみならずトリプルライセンスのチャンスです

本学には福祉のプロを育てる2つの専攻科があります（修業年限：1年）

### 福祉専攻

定員：50名

取得出来る資格

・介護福祉士（国家資格）

主な就職先

特別養護老人ホーム/介護老人保健施設/デイケアセンター/救護施設/養護老人ホーム/幼稚園/保育園（所）/有料老人ホーム/デイサービスセンター/児童養護施設/身体障がい者療養施設/軽費老人ホーム/知的障がい者療養施設

### 音楽療法専攻

定員：10名

取得出来る資格

・保育音楽療育士・音楽療法士（二種）  
・社会福祉主事任用資格  
・日本音楽療法学会認定音楽療法士（補）※

※……受験資格が取得可能な資格印のないものは、単位修得により取得可能な資格

主な就職先

老人福祉施設/知的障がい児・者施設/保育園（所）/介護老人保健施設/身体障がい者療養施設/病院のデイケア部門/精神科病院/幼稚園

### 専攻科入学検定料

**15,000円**  
~~25,000円~~

### 専攻科入学金

**75,000円**  
~~150,000円~~

### 親・兄弟姉妹等奨学生等奨学生制度(学科入学時)

●兄弟姉妹が本学に在学又は卒業している者、父母が本学を卒業している者は入学金の半額（100,000円）が免除されます。

### 学科入学金

**100,000円**  
~~200,000円~~

卒業生には受験料・入学金が減免になります

卒業生の兄弟姉妹や、子供さんにも特典があります

※詳細は入試広報部直通フリーダイヤル

**TEL:0120-310-796**

※入試広報部メールアドレス

**kouhou@mwjc.ac.jp**





# 新教職員紹介

はじめまして



初 蓑部  
(会計・用度担当)

本年度よりこの伝統ある宮崎学園短期大学に赴任いたしました。昨年までは姉妹校であり、私の母校でもあります宮崎国際大学に勤務しておりました。

私の親戚がこの学園短期大学を卒業しております。母親が高校生時代に祖父と一緒にお人坂を登って忍ヶ丘祭を見に行ったことがあるという話を、幼い頃から聞いていました。その伝統ある大学で働かせていただける喜びを感じながら勤務させていただきます。

さて、私は総務課で会計・用度業務を担当しております。まだまだ未熟な部分が多々ありますが、迅速かつ正確に業務をこな

せるよう諸先輩方のアドバイスのもと、日々努力しているところです。総務課の仕事は、先生方や業者との関わりが多いのですが、逆に学生との接点は少ない仕事です。ですが、学生たちと多く交流することで、学生の方から私の仕事の範囲で相談しやすい環境になればと思います。学内行事や忍ヶ丘祭の行事に積極的に参加し、学生の皆さんに顔と名前を覚えてもらえればと思っています。

短期大学では2年間という短い期間の中で、将来の職場で活かすことの出来る技能を身に付け、卒業後は即戦力として現場で働かなければなりません。同時に、友人と過ごす日々や語り合う時間も貴重なものとなるでしょう。同じ職業を目指し勉強した友人は、就職後も良き相談相手になると思います。そうした短いながらも充実した学生生活が送れるように、私も先生方と一緒に努力していきたいと思っております。



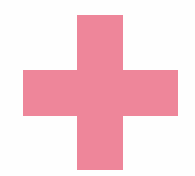
安井息軒生家にて -2月の梅まつり-

# しのぶ会だより

総会員数 17,933名 (平成25年2月現在)

## 平成26年度より 宮崎学園短期大学が新しく変わります。

平成26年4月入学生より適用されます。山下忍学長の「折々の記」次ページをご覧ください。



### 保育科

入学定員 210名  
収容定員 420名

#### 取得可能な免許

- 保育士
- 幼稚園教諭二種免許
- 社会福祉主事任用資格
- こども音楽療育士
- 音楽療法士(2種)

■体験や実習も豊富な参加型学習で、福祉の心をもつ保育者を育成し、地域に貢献。  
■専門性の高い人材を育成し、就職率100%。

### 人間文化学科(学科名変更予定)

ビジネスコース/医療事務・医療秘書コース

入学定員 50名  
収容定員 100名

#### 取得可能な免許

- 上級ビジネス実務士
- プレゼンテーション実務士
- 日本医師会認定医療秘書受験資格
- 日本医師会医療保険請求事務実技試験受験資格
- 社会福祉主事任用資格・司書資格
- 全経簿記能力検定・秘書技能検定
- 販売士検定・FP技能士検定
- 日本情報処理検定

■一般企業(金融・保険・証券・ホテル・空港)、図書館などで活躍。  
■病院・調剤薬局等で医療事務・医療秘書として勤務。



# 学長折々の記

多くの方々にご承知いただいていることですが、本学は1965年(昭和40年)に保育科を有する宮崎女子短期大学として発足を見ました。

爾後、国文科、初等教育科、音楽科、そして英語科と順次学科を増設しながら、宮崎県を中心とする若者の教育に当たってきました。

その間、本学教育の根幹に在って、2008年(平成20年)に男女共学化に伴って大学名を宮崎学園短期大学と改称した後も、本学教育を強固に貫くものは、建学の精神「礼節と勤労」であります。

私たちは、「礼節と勤労」という、この見事な「建学の精神」のもとで、「礼節」を心得、「勤労」を尊ぶ心豊かな人材を養成すべく、努力を重ねてきました。幸いにして、本学で学ぶ若者たちは、本学の有する教育理念をよく心得、よく努力し、有難い姿で実社会に巣立ち、それぞれの分野で社会貢献を果たし続けています。

にもかかわらず、本学は、平成26年度からは定員210名(収容定員420名)の保育科と、定員50名(収容定員100名)の現代ビジネス科(人間文化学科をこの学科名に改称予定)の2学科で歩いていくことになりました。

地域の要請度等をはじめとする時代の流れとはいえ、人間性豊かな人物を生み出す上で大きな役割を果たしてきた1970年(昭和45年)設置の音楽科、また、1966年(昭和41年)設置の国文科

の伝統を引き継いで、国語・国文上、これまで多大の役割を果たしてきた人間文化学科の国語・国文コースが、平成26年度をもって学生募集を停止し、在学生の卒業をもってその役割を終えるというのは残念なことです。しかし、これらの学科やコースが、これまで築きあげ、財産となって現存するものは、今後とも、保育科において、また、宮崎国際大学に新たに設置予定の教育学部、そしてまた、人間文化学科から改称予定の現代ビジネス科において十分に活用されていくように本学全体で心得、実践していきたいと覚悟しています。

幸いにして、26年度をもって募集停止となる初等教育科は、そっくり新設置予定の教育学部に移行して、より充実した姿で教育が行われることとなります。有難いことだと思っております。

有難いといえば、定員210名の保育科は、今現在行っている平成25年度入学生の学生募集においても、正月を前にして、既に大変な数の応募となっております。宮崎県を中心とする各家庭のこうした願いを、真摯にかつ、感謝の念をもって受け止めながら、本学は、平成25年度は現在の学科構成のまま、26年度以降は、新たな学科構成で確たる歩みをつけて参ります。

本学の象徴たる銀杏樹の巨木は、本日もまた、初冬の光を浴びて限りなく美しく輝いています。これまで以上に、充実度濃き短期大学であるべく、全教職員で努力を重ね、巨木に負けない姿を築いていきます。

どうぞ、ご理解と、一層の協力・鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

(平成24.11.21記)  
山下 忍

## 同窓会から

平成22年保育科E組卒業

代表者 三浦 朋子



同窓会に向けての出欠や準備、当日のワイワイっぷりは、終始Eクラスらしさが何も欠けることがありませんでした。

当日はお互いに、仕事や学校の話、思い出話に花を咲かせすぎ、他のお客様にとっては迷惑だったかもしれないかもしれません。ごめんささい。あのEクラスらしい感じに、学生に戻りたいと社会人1年目の先輩が言っていました。また、約1年間で変わった人、そうでもない人、様々でしたが、専攻科の学生は、社会人1年目の先輩から教えられたこともあった様に感じられた1日でした。

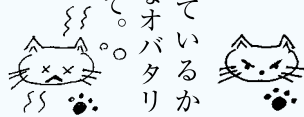
また、しのぶ会からのクラス援助金のおかげで、楽しい同窓会を開催することができました。ありがとうございました。

そして、今回参加してくれた皆さん！参加できなかったEクラスの皆さん！またどこかで「集まりたいね」という声があるかもしれないですね。その時の開催で会えるのを楽しみにしています。

最後になりましたが、幹事を一緒にしてくれた相方さん、出欠を聞いてくれた皆さん、参加してくれた皆さん、思い出深い時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

## 吾輩も卒業！

卒業生の皆さん、元気ですか！私、宮崎賢二もまだまだ化石みたいなになりながらもしつかり元気に勤めております。でも平成24年度いっぱいでもいよいよ卒業です。この短大に40年以上お世話になりましたが、考えてみると卒業した皆さんの心や思いが私の小さな頭にしつかり入っていて、大変なつかしく多くのものを得ました。失ったものは頭の髪の毛だけです。これから私はかわいいニャンコ爺さんになるよう努力しようと思っております。なにしろわが家には7匹のニャンコと1匹のワン公がおりますので、そう簡単にはくたばるわけにはいかんです。最後までみとどける義務がありますので…



最後に皆さんへのメッセージを3つ残しておきます。次の事を忘れるニヤ。

- ①笑顔・悲しくても、ムカついても、無理してでも、とりあえずニコッと笑ってみるといいですよ。これが意外と効果的！
- ②思いやり・常に優しく相手の身になって考えよう。女性には特にガンバルニヤン。
- ③自然体・これが一番むずかしい。ピアノを弾いていると良く分かる。それでも目標に近付こう！

以上、それではさらばでござる。ニヤーン、ニヤン、ニヤン、ニヤン



皆さんはどうなっているかニヤー。まさか立派なおバタリアンに成長したりして。

平成16年国文科卒業

代表者

長友 絢子  
矢野 文香



のみ貸切にして頂きました。他のお客様の目を気にすることもなく楽しく同窓会が出来ました。

また、ビンゴ大会を実施し、場が和み大成功でした。景品は商品券からお菓子まで様々なものを用意しました。景品の内容が良かったのかどうか不安でしたが、皆に喜んでらえて大変嬉しかったです。

先生や旧友にも会うことができ、大変充実した同窓会でした。また、最後に全員に今回の同窓会の感想を一言ずつ頂きました。

その中でまた同窓会を実施して欲しいという声が多く大変嬉しかったです。

長友 絢子

今回の同窓会は1ヶ月半前に皆へ開催日だけをお知らせをして、その後、細かいことを決めていきました。ただ幹事2人ともより良いものにしたかったという想いがあり、話し合いに時間がかかり大変でした。結局全員へ場所の通知をしたのが2週間前ぐらいになり皆に心配をかけてしまったと思います。でも、無事同窓会が出来、ホッとしました。

お店は「OCTOPUS B1」でした。お店の奥と手前が少し分かれた作りになっており、お店自体の貸切では無かったですが、奥の部分

幹事2人で手分けして声を掛けたいといえ、わずかに2週間足らずで14名ものクラスメイトが集まるには驚きました。改めて卒業しても繋がる絆を嬉しく思います。

久しぶりに後藤先生や原田先生ともお会いでき、在籍当時の話に花を咲かせ、楽しい時間を過ごすことができました。

今回は何年かぶりの同窓会でしたが、できれば1年に1度くらいこのような機会を開いていければいいなと思います。次は宮本さんがんばって！

矢野 文香



■平成10年保育科Cクラス卒業

代表者 原田 智子(旧・中村)

●久し振りに会ったとは思えない程に盛り上がり、みんな短大の頃と変わらずに話して、とても楽しい時間が過ぎました。主婦の話となる子ども写真を見せ合い今までの時間をうめるように話しました。

手嶋真理(旧・木ノ下)

●短大卒業してから初めての同窓会。14年ぶりの再会でしたが、みんな変わってなくなつかしかったです。14年分の話をするには4時間では足りなかつたので、また集まって語りたかったです。楽しい一時でした。

芳野奈穂美(旧・石川)

●久し振りに会えてみんなが結婚して母親になったり、みんなそれぞれ頑張ってる話をきけて自分も頑張ろうと思えました。とても楽しい時間をありがとうございました。

小林裕子(旧・永野)

●楽しい時間はあっという間でいろいろな話が聞けて元気をもらいました。ありがとうございました。

大野美香(旧・福本)

●久しぶりに会えて、いろんな話ができ、とても楽しい時間がすごせたので参加できて本当に良かったです。また会いたいです。ありがとうございました。

西畑千恵(旧・松元)

●卒業してから15年も経ったのか。と、歳を感じつつ短大生だった頃の

の事よりも卒業してからのそれぞれの人生に興味津々でした。結婚・出産・仕事、話している間に色々な事思い出して楽しい時間が過ぎました。初めての同窓会でしたが、一回目から多人数よりも一つの話題をみんなで笑えるくらいの人数でよかつたなとも思います。また会いたいです。

坂本海緒(旧・山下)

●卒業して全く会っていなかった友達に会えて、あの頃話せなかつた事も色々話せて楽しい時間がすごせ良かったです。次回はもっとたくさんの方で会えたらいいと思います。

原田みゆき

●アルバムもつてきてくれた芳野さん(旧・石川さん)ありがとう!!とても楽しい時間がすごせた事に感謝です。

原田智子(旧・中村)



■昭和59卒保育科A級卒業

代表者 工藤 純代(旧姓・森美)

28年ぶりの同窓会。連絡をとるのなかなかでしたが、県外の方も多く出席していただき、先生を含め19名でのびみやま同窓会となりました。

当日は、駐車場あたりから歓声が上がり、会場までの石畳を歩きながら学生時代にタイムスリップしていきました。美味しい食事をいただきながら、それぞれの近況を聞いたり、アルバムを開いては昔話に笑い転げたりと、あつという間に時間が過ぎてしまいました。話の中で8割近くの方が今でも何らかの形で子どもたちを育む仕事をしているとのこと、横のつながりを感じる機会にもなりました。

また優しい笑顔と素敵な声で私たちを導いてくださった見山先生は、現在も宮崎県オペラ協会会長として活躍され、輝いていらつしやいました。お話を伺いながら、あらためて素晴らしい先生に教えて頂いたことに、誇りと感謝の気持ちでいっぱいになりました。私たちも先生の様に素敵な年を積み重ねていきたいなあとおもっていました。

今回出席できなかった方や連絡がとれなかつた方がいて残念

■昭和52年保育科D組卒業

代表者 永井理恵子(旧・上久保)

高島 るみ(旧・甲斐)

本学を卒業して35年という月日が流れていました。私たちは1年は旧木造学生寮、2年は現在の寮を経験した学年です。

鈴木順和(としかず)先生は大学院を卒業されて本学に就職されると同時に私たちのクラス担任として卒業までお世話になりました。高校卒業したばかりの私たちはとても年上の先生と感じていたと思います。

初の同窓会が実現したのは先生が退職され故郷の福岡に転居されることを知ったからでした。先生にお電話すると、「嬉しいねえ。君たちは最初の教え子だから特に印象深いクラスだよ。」

「嬉しかったよ。」

名簿を頼りに恐る恐る電話をする。と聞こえてくるのは懐かしい声、声。子育ては済み、親の介護の世代に突入していました。

「待ち合わせは一番街のミスト前ね。」了解了解。「いつものので約束したものいざ行ってみて驚きです。3月の送別会時期もあって、待ち合わせのグループのすごい数、私はどの仲間?あそこ

でしたが、次回は必ずお会いしたいので、ぜひ連絡をくださると嬉しいですよ。

心もお腹も満ち足りた時間、笑顔の時間を思い出し、別れを惜しみながら3年後の再会を約束して会を終りました。皆さんまたお会いしましょう。



■昭和57年保育科卒業

代表者 迫 明美

「じゃあ、またね。次楽しみにしてるよ。」と、笑顔で手を振り合つて別れた前回の同窓会。あれから2年、洪水、東日本大震災、竜巻そして、前会まで笑顔で会えていた友の突然の訃報。ことばにできない辛い

はちよつと若すぎるよね...それでもすぐわかるものですね。アツという間に輪が出来、互いに「変わってない、変わってない」の笑いの御対面でした。

懐かしい話、苦勞話、仕事の話、等々盛り上がっているうちに、いつの間にか恩師であるはずの鈴木先生に歳を感じなくなっていました。そのくらい私たちがしっかりおばさんに変身していたのでした。

今回どうしても参加できなかった友達のために次はビヤガーデンの予定です。楽しみます。



出来事がたくさんありました。幹事三人、今回は今までと違う色々な思いを寄せ合つて、この会の話し合いを重ね、約束通り、2年越しの同窓会を6月に開くことができました。

いつも通り、旧姓で呼び合つて再会の嬉しさにはしゃぎ合つて会がスタート。30年ぶりに会う友とも、その空白は、あつという間に埋められていました。

「孫が6人になった!!」と、みんなをびつくりさせる友もいましたが、話題はやはり、宮崎女子短期大学で学んだ青春の思い出。春、入学して初めて言葉交わした友の第一印象や当時の服装(ファッション)。

夏、宮崎女子高(現在は宮崎学園)のプールで行なわれた水泳の授業。

秋、美人坂(当時はそう呼んでいた)を歩いて移動した清武川の河川敷での運動会。そして忍ヶ丘祭の大イベント。

冬、宮交シテイのスケート場(夏はプールとして利用)での体育の授業のスケート教室。

2年間お世話になった先生方の授業の思い出は毎回話題にあがり盛り上がりです。

そして恒例、矢口先生のミニ講座。今回は「日本の昔話代表



的な5話・五大伽話は?」などの質問に30年前の短大の教室にタイムスリップしました。「会いたい時にはすぐ連絡し合つて数人でも集まろうね。」と約束。恒例の次回幹事さんの音頭で一本締めをして心をついに2年後の12回目の同窓会にバトンを繋いで終わりにしました。今回の同窓会は、今まで以上に深い絆を感じ、この絆を作ってくれた宮崎女子短期大学に心から感謝いたします。みんなに「来てくれてありがとう」と直接言える幸せ、いろんな「ありがとう」を伝えられた同窓会となりました。



## 訃報

平成二十四年十二月十一日、本学第五代学長大坪孝雄先生が八十七歳をもってご逝去されました。

大坪孝雄先生は、宮崎女子短期大学の設立準備に携われ、開学当初から生理学等の担当教授として、また、平成七年四月から平成十八年三月までは学長として、本学の発展のためにご尽力いただきました。

開学当初からですので、多くの卒業生がああ優しい笑顔の孝雄先生の講義を受講されたことと思います。講義の教科書として使われていた岩波新書の「人間であること」を見る度に、狼に育てられたアマラとカマラの話をお聴きしたことを思い出します。

学長に就任されてからは四月の新生活への挨拶の折に、短大本館前の大銀杏に触れられ「今は小指の先ほどのかわいい銀杏の葉ですが、日に日に大きくなり、夏には涼しい日陰を作ってくれます。その生長に合わせて、皆さんは本学で学ぶ中で、自分自身を成長させてください。そして、銀杏が黄金色に輝くころは、あなたも素晴らしい成長を成し遂げてください。」と述べられていました。

先生が、「幸せを与えてくれた銀杏の大樹」と呼ばれていた銀杏は、今回、忍ヶ丘五号の表紙を飾ってくれました。

大坪孝雄先生 ありがとうございます。  
そして、どうぞいつまでも忍ヶ丘を、宮崎学園短期大学を見守っててください。

大坪孝雄先生のご冥福をお祈り申し上げます。

## ご利用ください!

- \* この用紙は、宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）卒業生用証明書申込用紙です。
- \* 証明書が必要な場合は、この用紙をご利用ください。
- \* 証明書申込みの際、現住所等に異動があった場合は、しのぶ会事務局にて住所等を変更しますので、異動通知を出す必要はありません。

### 証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			
*証明書1枚につき300円 <b>金額合計</b> 円			
卒業年	昭和・平成	年	月
卒業月	卒業	年	月
学科名等	科	組	コース
学籍番号	学籍番号		
生年月日	昭和・平成	年	月
現氏名	現氏名		
(旧姓)	(旧姓)		
現住所	現住所		
電話番号	電話番号		

(希望送付郵便 普通・速達)

### 証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数
卒業証明書		保育士資格証明書	
成績証明書		司書講習終了証明書	
学力に関する証明書			
*証明書1枚につき300円 <b>金額合計</b> 円			
卒業年	昭和・平成	年	月
卒業月	卒業	年	月
学科名等	科	組	コース
学籍番号	学籍番号		
生年月日	昭和・平成	年	月
現氏名	現氏名		
(旧姓)	(旧姓)		
現住所	現住所		
電話番号	電話番号		

(希望送付郵便 普通・速達)

- \* 各項目は、必ずご記入ください。記入・押印漏れのある場合は、発送ができませんのでお気を付けください。
- \* 学籍番号につきましては、不明の場合記入する必要はありません。
- \* 内容確認をおこなう場合がありますので、必ず連絡できる住所・電話番号をご記入ください。

## お知らせ

### クラス会を開きませんか？

同窓会しのぶ会では、卒業後も会員の皆様の交流の場としてクラス会を開催していただき、同窓会活動を盛り上げ、延いては母校の発展に寄与していただくことを目的にクラス会への援助を行っております。

クラス会を開催された場合は、是非援助金の申請をしていただきますようご案内いたします。援助金はクラス毎に年一回、一万円の支給となっております。十名以上で開催し、感想文（原稿用紙二枚程度）、参加者全員の住所録及びクラス会当日の写真、領収証（二万円以上）、代表者の連絡先及び援助金受取方法を添え、しのぶ会事務局へ申請してください。

なお、申請時にお寄せいただいた感想文・写真は、本機関誌「忍ヶ丘」の「同窓会から」のコーナーに掲載させていただきますので、ご協力・ご理解ください。

\*クラス会援助金申請のために提出していただいた個人情報、同窓会運営の目的以外には使用いたしません。

### しのぶ会連絡先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415番地  
宮崎学園短期大学同窓会 しのぶ会事務局  
TEL0985(85)0146  
FAX0985(85)0101



# 異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。  
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的以外には使用しません。

# 注 意 事 項

- \* 証明書料金は、1枚につき300円です。返信用送料とともに切手か郵便為替に換えて封書にて郵送してください。
- \* 証明書は、期日に余裕を持ってお申込みください。
- \* 証明書申込先住所・返信用送料明細は、申込用紙裏面記載のとおりです。
- \* お寄せいただいた個人情報に関しましては、目的以外には使用しません。

卒業年 昭和・平成 学 科 (旧姓) 組 (不明者No.) フリガナ ( ) ( )	
氏名	( ) ( )
〒	
現住所	市外局番 市内局番 番号
勤務先	市外局番 市内局番 番号
確認事項 同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない	

①本人の訂正・異動通知 ②知人(本人以外)の訂正・異動通知	掲載員 頁 年 版 行 目
※②の場合連絡者名	卒年 昭和・平成 学 科 年 組

※どちらか〇で囲む 平成 年 月 日 報告

## 異動通知連絡カード

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居なれる場合には(裏面側)のみこの葉書を利用してご連絡ください。  
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等を「存知でしたらぜひお知らせください」。

卒業年 昭和・平成 学 科 (旧姓) 組 (不明者No.) フリガナ ( ) ( )	
氏名	( ) ( )
〒	
現住所	市外局番 市内局番 番号
勤務先	市外局番 市内局番 番号
確認事項 同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない	

①本人の訂正・異動通知 ②知人(本人以外)の訂正・異動通知	掲載員 頁 年 版 行 目
※②の場合連絡者名	卒年 昭和・平成 学 科 年 組

※どちらか〇で囲む 平成 年 月 日 報告

## 異動通知連絡カード

**\* 注意事項をよく読み証明書申込用紙に必要事項を記入して封書にてお申込みください。**

証明書申込先  
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415  
宮崎学園短期大学 証明 係  
TEL 0985-85-0146

返信用送料明細  
証明書3枚まで普通郵便料 120円  
速達郵便希望の場合 プラス270円

\* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に  
通知します。

通 信 欄

**\* 注意事項をよく読み証明書申込用紙に必要事項を記入して封書にてお申込みください。**

証明書申込先  
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415  
宮崎学園短期大学 証明 係  
TEL 0985-85-0146

返信用送料明細  
証明書3枚まで普通郵便料 120円  
速達郵便希望の場合 プラス270円

\* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に  
通知します。

通 信 欄



# 宮崎学園短期大学校歌

狩野 満 作詞  
石田 良男 作曲

*mf*  
う る わ し や き り し ま や ま を み は る か し か ー ぜ ー わ た  
ゆ か し き や し ら く も と お く き ゆ る は て な ー ん ー ご く

*cresc. f rit. mf*  
る し の ぶ が お か ー に ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う つ  
の し お さ い き き ー て ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う と

*a tempo*  
ど い き て き ょ う こ そ ま な ー べ わ か き わ れ ら の ゆ め は は る  
き う つ り わ か れ ゆ く と ー も わ か き わ れ ら の む ね に う た

1. 2.  
け し ゆ は む あ あ わ れ ら が ぼ こ う わ れ ら が ぼ こ う

郵便はがき  
8891605

50円切手  
をはって  
ください

宮崎市清武町加納丙一四一五  
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会  
しのぶ会 行

通信欄

## 忍ヶ丘 第5号

【編集委員】 倉永 愛子 黒木亜美子 齋藤 典子  
坂元マモル 佐々木ゆかり 戸敷 早苗  
しのぶ会事務局

【発行日】 平成25年3月19日

【発行所】 宮崎学園短期大学  
宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局  
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415  
TEL.(0985)85-0146

【印刷所】 愛文社印刷

郵便はがき  
8891605

50円切手  
をはって  
ください

宮崎市清武町加納丙一四一五  
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会  
しのぶ会 行

通信欄